

第 3 章

若年者に関する調査結果

第3章 若年者に関する調査結果

1 調査結果の概要

○若年者（40～64歳）は、居住環境は「持ち家」が一戸建てと分譲マンションなどの共同住宅を含めて約7割となっており、一般高齢者よりも持ち家が少なくなっています。同居者は「配偶者」が約8割、「子ども」が6割強となっていますが、介護が必要となった時に希望する介護が配偶者や親族による介護だけでなく、介護サービスを利用したいと希望する方が5割弱と多くなっています。

○経済面の状況は、経済的なゆとりが「十分ある」と「ある程度ある」で4割強、「あまりない」「ほとんどない」が5割弱となっています。経済面で老後に問題になると考えていることは「生活費のこと」「医療費のこと」などを挙げる方が健康面の次に多くなっており、老後における大きな不安となっています。

○健康状態については、7割強の方が「とても健康だと思う」「まあ健康だと思う」と回答しており、健康維持のために何か実行している方も7割を大きく超えています。健康のために実施していることでは運動や食事、健康診断が5割を超えて多くなっており、健康に対する意識が高まっているとみられます。一方で「特に何もしていない」という方の理由では「時間がない」「余裕がない」が4割を超えており、このようなケースへの対策が必要です。

○生きがいについては、現在生きがいを感じることで今後やってみたいことで概ね同じ割合の項目が多くなっていますが、今後やってみたいこととして「学習や教養を高めるための活動」「趣味の活動」「スポーツ・レクリエーション」の割合が多くなっており、生きがいづくりには家族のふれ合いや自分の楽しみに関する活動を気軽に取り組める環境づくりが重要であると考えられます。

○近隣との付き合いでは、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が5割弱となっており、一般高齢者よりも多くなっています。今後の意向についても「今のままでよい」が4割で最も多くなっており、積極的に隣近所と接することはあまりないようです。

○何歳以上を「高齢者」と考えているかについては、約5割の方が「70歳以上」と回答しており、現在の介護保険制度や各保健・福祉事業などで設定される「65歳以上」よりも高い年齢と考える方が多くなっており、医療の充実や健康意識の高揚などから高齢と捉える年齢層が上がっていると考えられます。

○介護保険制度については、「大変よい」「よい」があわせて4割となっていますが、「わからない」が3割以上となっており、内容が十分に浸透していないと考えられます。制度についての周知では、「40歳以上の方が被保険者になり、保険料を払うこと」と「介護サービスを受けるには、要介護認定の申請が必要なこと」がいずれも7割以上となっている一方、「不満や問題があるときには、申し立てることができること」が4割未満となっており、周知の状況に隔たりがみられません。

○介護のかかわり方の希望と実践では、「自分が主な介護者としてかかわりたい（かかわっていききたい）」に「自分が中心ではないが、何らかの形で介護者としてかかわりたい（かかわっている）」を加えると7割以上となっており、何らかの形で家族の介護にかかわる意思のある人が多くなっています。介護が必要になったときの希望では、「家族の世話だけでなく在宅福祉サービスも利用し、家庭で生活する」が5割近くとなっており、サービスの利用を交えた在宅介護を希望する声が多くなっています。

○老後に問題になることでは、「健康のこと」が80.7%、「認知症や寝たきりになること」が60.8%、「介護を受ける状態になること」が57.2%となっており、老後の健康や介護を心配する声が多くなっています。老後の生活について重点を置いているもので「健康を維持すること」が7割以上、「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が5割近くとなっていることも考慮すると、今後に備えた健康づくりへの支援や介護体制の充実、経済的な支援が求められていると考えられます。

○地域の行事等の参加状況では、「自治会の活動」「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」が多くなっている一方、「婦人会の活動」「老人クラブの活動」などが非常に低くなっています。参加していない理由では「仕事や家事・育児などで忙しい（時間がない）から」が5割近くとなっており、自分や家のことが忙しいために地域の行事や活動に参加できていない人が多くなっています。

○地域の人を支え合っていくうえで大切なことでは、「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」が7割以上となっており、近隣に住む住民同士で助け合うことが地域に必要であると考えている人が多いことがわかります。

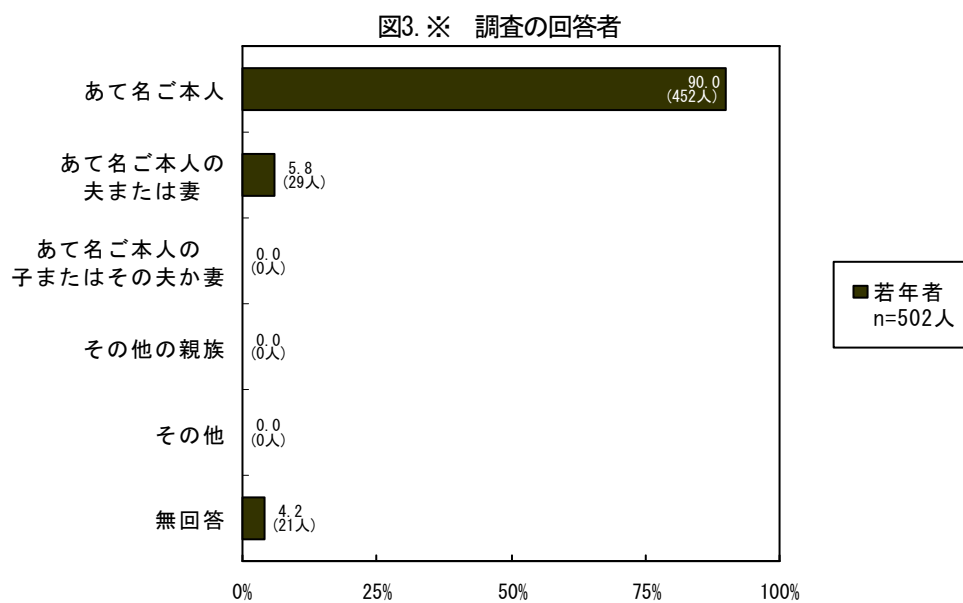
○ボランティア活動では、参加経験をみると「地域が行う防災活動」が3割以上となっている以外は低い割合となっていますが、参加意向は「地域が行う防災活動」が5割以上となっているほか「高齢者に対する活動」「保健・医療に対する活動」で高い割合を示しており、全体でみるとボランティア活動への関心が高いことがうかがえます。ボランティア活動の輪を広げていくために必要なことでは、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行うこと」「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が多くなっています。

○使いやすい福祉サービスを実現するために有効なことでは、「福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する」と「適確な相談が受けられるようにする」が6割前後、「行政やサービス事業者の情報公開を進める」が4割以上となっており、福祉サービスについての情報提供体制と相談支援体制の充実を求める声が多くなっています。

2 基本属性について

※ この調査にお答えいただくのはどなたですか。(〇は1つだけ)

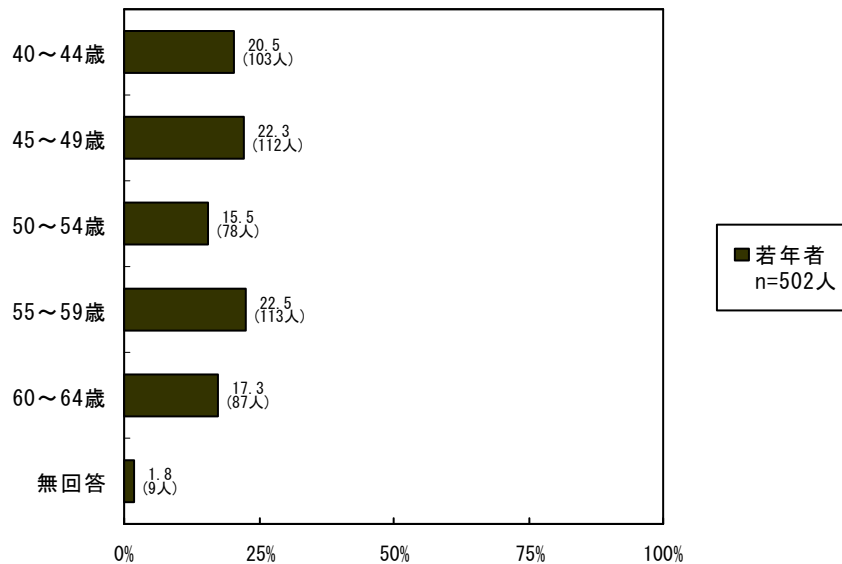
調査の回答者では、「あて名ご本人」が90.0%となっています。



問1 あなたの年齢はおいくつですか。(○は1つだけ)

年齢では、「55～59歳」が22.5%、「45～49歳」が22.3%、「40～44歳」が20.5%、「60～64歳」が17.3%、「50～54歳」が15.5%となっています。

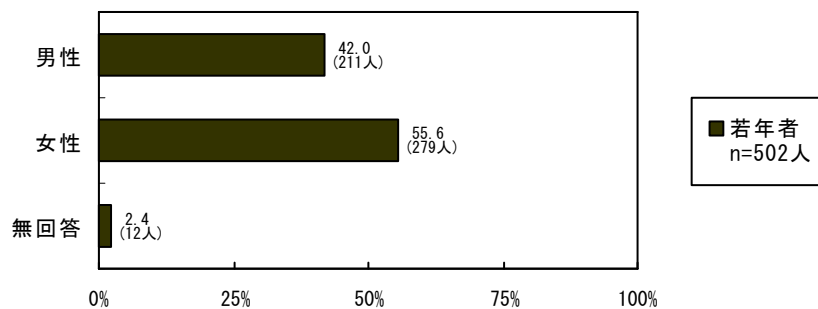
図3.1 年齢



問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

性別では、「女性」が55.6%、「男性」が42.0%となっています。

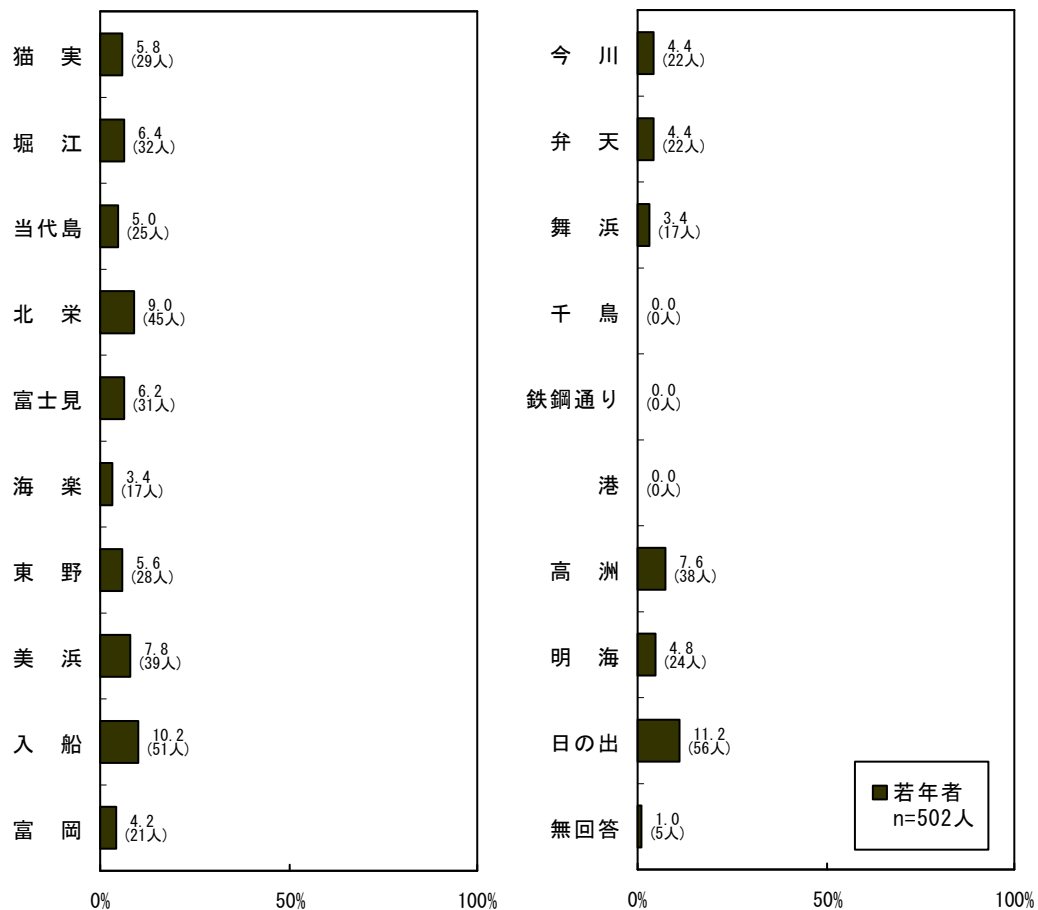
図3.2 性別



問3 あなたはどちらの地区にお住まいですか。(〇は1つだけ)

居住地区では、「日の出」が11.2%、「入船」が10.2%、「北栄」が9.0%となっています。

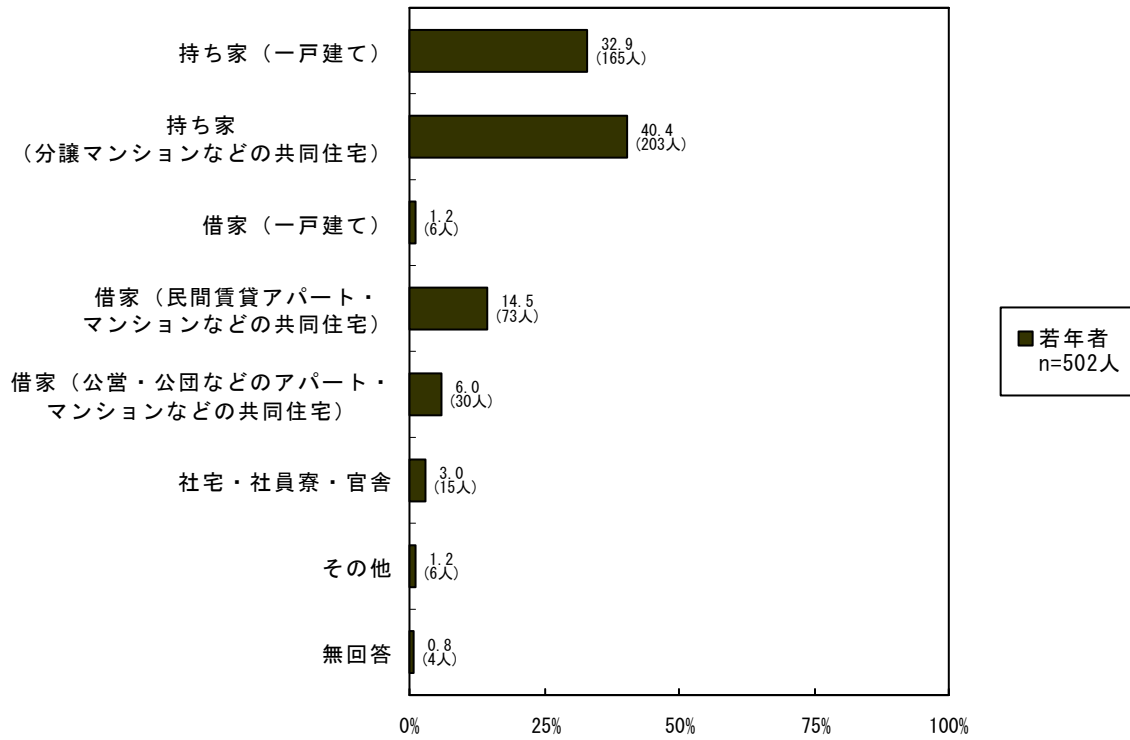
図3.3 居住地区



問4 あなたの今住んでいる住宅は、次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)

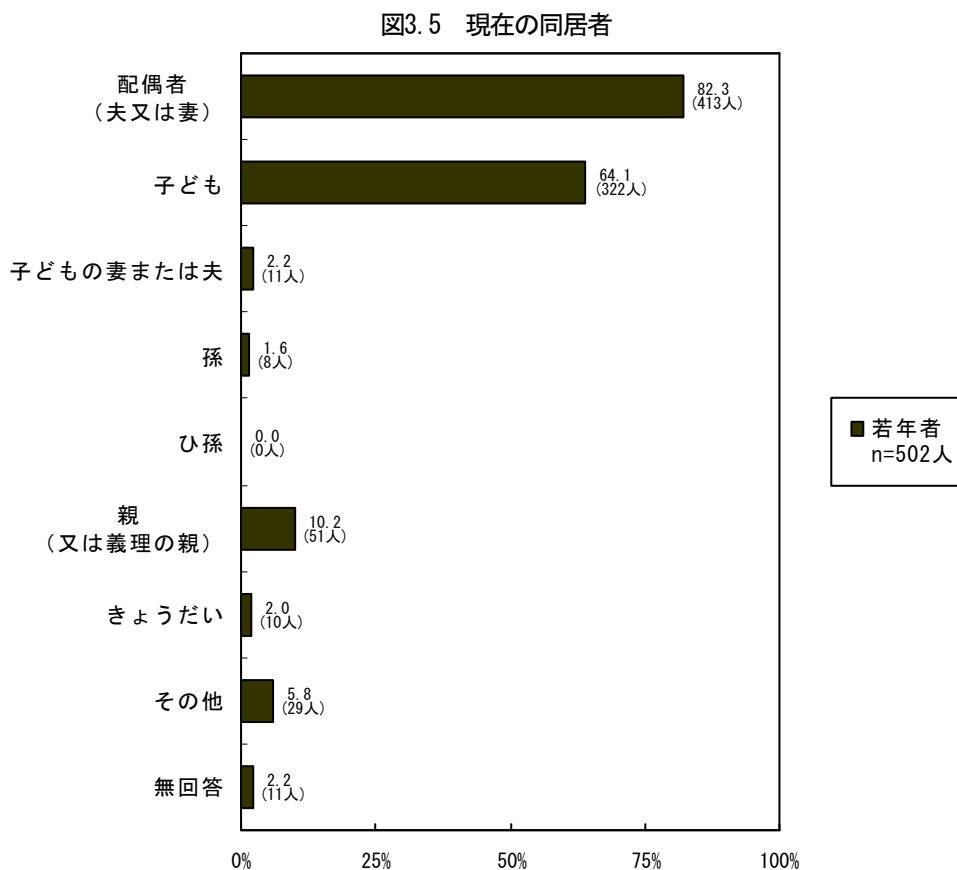
住んでいる住宅では、「持ち家（分譲マンションなどの共同住宅）」が40.4%、「持ち家（一戸建て）」が32.9%、「借家（民間賃貸アパート・マンションなどの共同住宅）」が14.5%となっています。

図3.4 住んでいる住宅



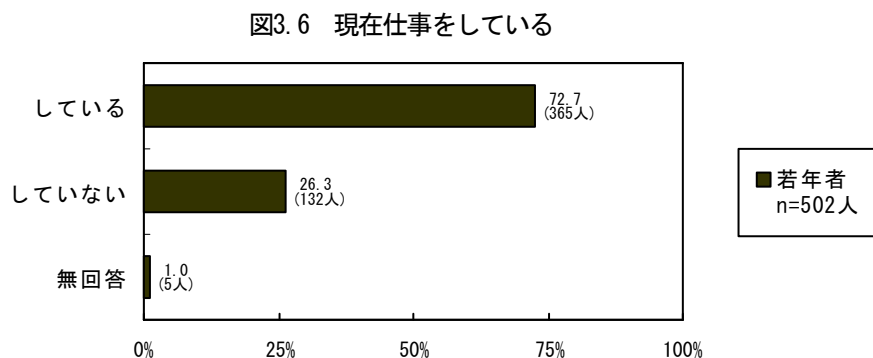
問5 現在、あなたと一緒に住んでいる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の同居者では、「配偶者(夫又は妻)」が82.3%、「子ども」が64.1%、「親(又は義理の親)」が10.2%となっています。



問6 あなたは、現在、仕事をしていますか。(○は1つだけ)

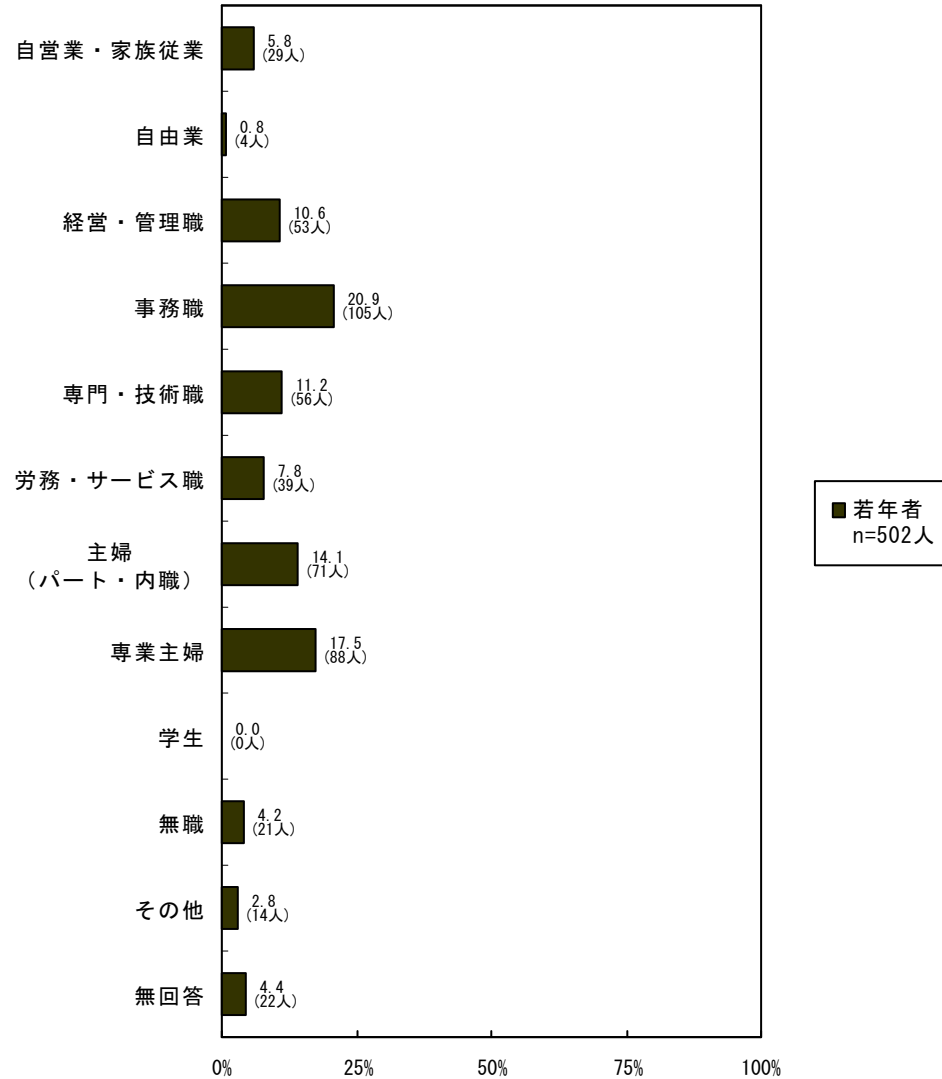
現在仕事をしているでは、「している」が72.7%、「していない」が26.3%となっています。



問7 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

職業では、「事務職」が20.9%、「専業主婦」が17.5%、「主婦（パート・内職）」が14.1%、「専門・技術職」が11.2%、「経営・管理職」が10.6%となっています。

図3.7 職業



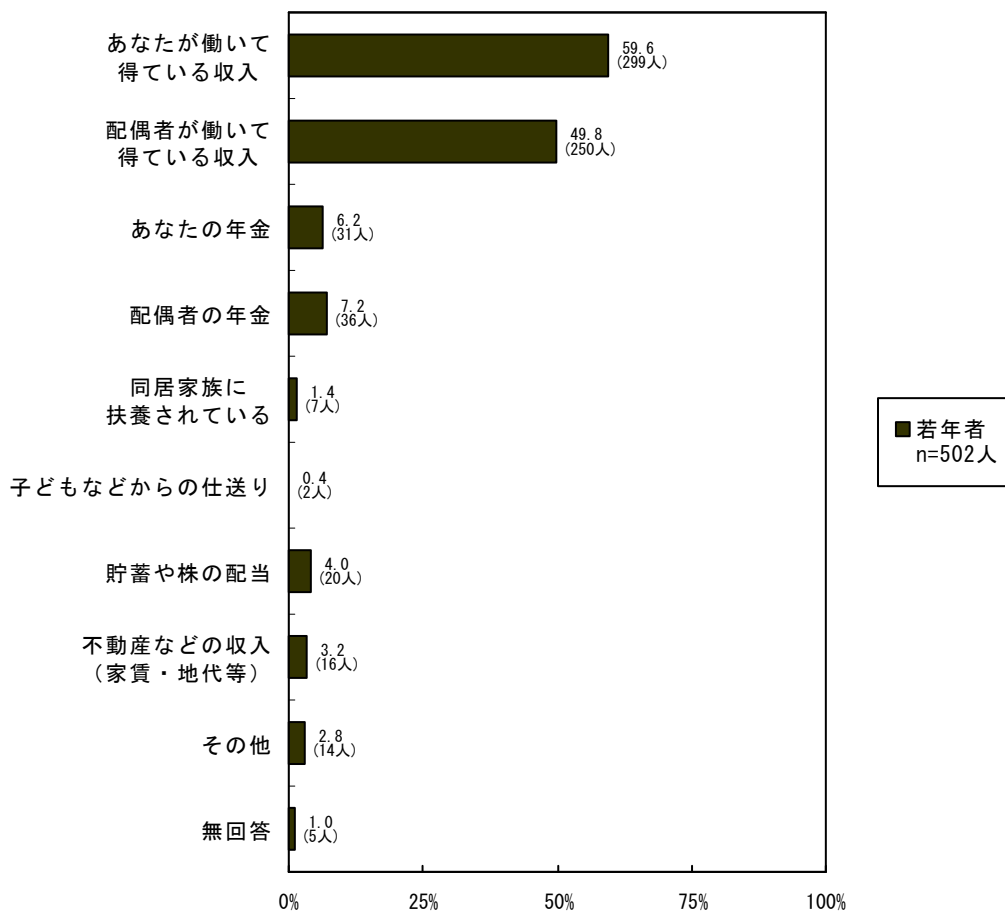
※

- 自由業 (作家、芸術家、スポーツ選手など)
- 経営・管理職 (会社経営、会社・団体の役員など)
- 事務職 (一般事務、営業、販売員など)
- 専門・技術職 (研究者、技術者、医師、教師など)
- 労務・サービス職 (工員・作業員、飲食物調理、接客、ビル管理など)

問8 あなたが日常生活を維持している収入は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

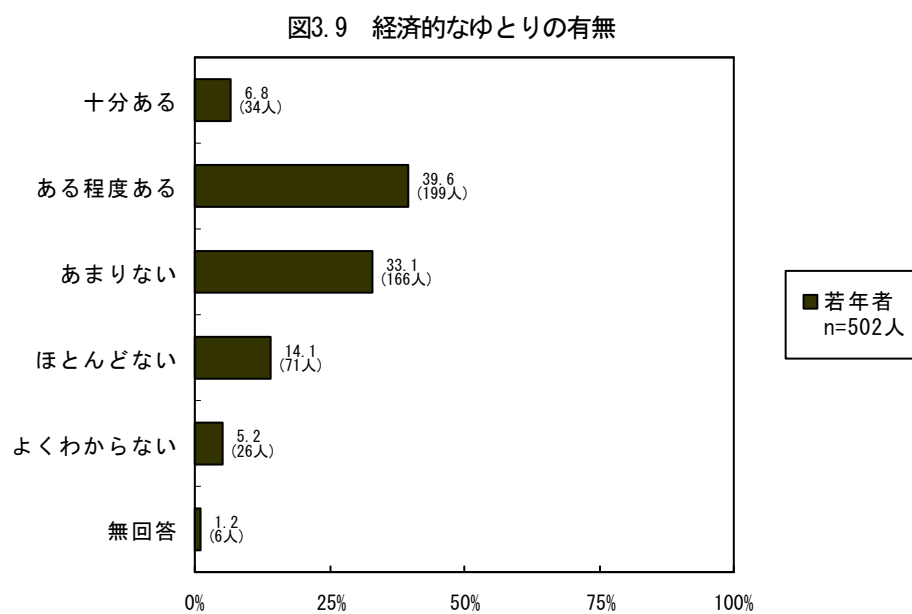
日常生活を維持する収入では、「あなたが働いて得ている収入」が59.6%、「配偶者が働いて得ている収入」が49.8%となっています。

図3.8 日常生活を維持する収入



問9 あなたは、日頃の生活の中で、経済的なゆとりがある方だと思いますか。(○は1つだけ)

経済的なゆとりの有無では、「ある程度ある」が39.6%、「あまりない」が33.1%、「ほとんどない」が14.1%となっています。



3 健康について

問10 あなたの日ごろの健康状態についてお伺いします。(○は1つだけ)

日ごろの健康状態では、「まあ健康だと思う」が64.3%、「あまり健康ではないと思う」が11.0%、「とても健康だと思う」が9.6%となっています。

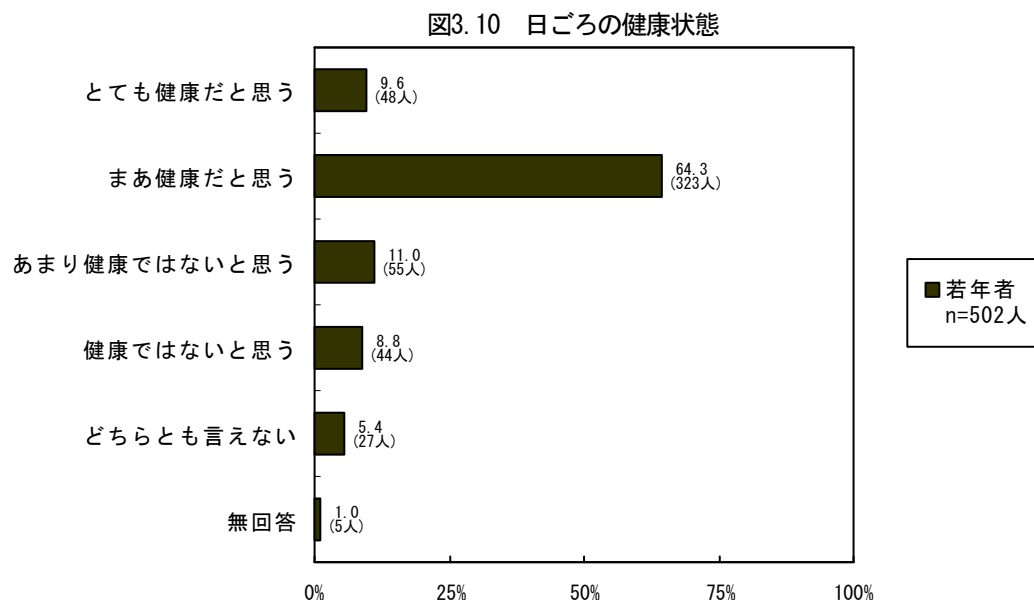


表3.1.1 【性別・年齢別 (列)】 × 【日ごろの健康状態 (行)】

日ごろの健康状態について

日ごろの健康状態について	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
		上段：人 / 下段：%								
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
とても健康だと思う	48	22	26	0	8	10	15	7	8	0
	9.6	10.4	9.3	0.0	7.8	8.9	19.2	6.2	9.2	0.0
まあ健康だと思う	323	131	186	6	72	75	50	70	52	4
	64.3	62.1	66.7	50.0	69.9	67.0	64.1	61.9	59.8	44.4
あまり健康ではないと思う	55	23	31	1	9	15	4	15	12	0
	11.0	10.9	11.1	8.3	8.7	13.4	5.1	13.3	13.8	0.0
健康ではないと思う	44	23	20	1	10	7	8	10	8	1
	8.8	10.9	7.2	8.3	9.7	6.3	10.3	8.8	9.2	11.1
どちらとも言えない	27	12	15	0	4	5	1	11	6	0
	5.4	5.7	5.4	0.0	3.9	4.5	1.3	9.7	6.9	0.0
無回答	5	0	1	4	0	0	0	0	1	4
	1.0	0.0	0.4	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	44.4

表3.1.2 経年比較 日ごろの健康状態

	全体	とても健康だと思う	まあ健康だと思う	あまり健康ではないと思う	健康ではないと思う	どちらとも言えない	無回答
平成16年	607人	12.7%	68.7%	10.0%	4.3%	4.1%	0.8%
平成19年	502人	9.6%	64.3%	11.0%	8.8%	5.4%	1.0%

問11 あなたは、現在、病気などの治療のために医療機関にかかっていますか。(○は1つだけ)

治療のために医療機関にかかっているでは、「かかっていない」が54.8%、「かかっている」が43.6%となっています。

図3.11.1 治療のために医療機関にかかっている

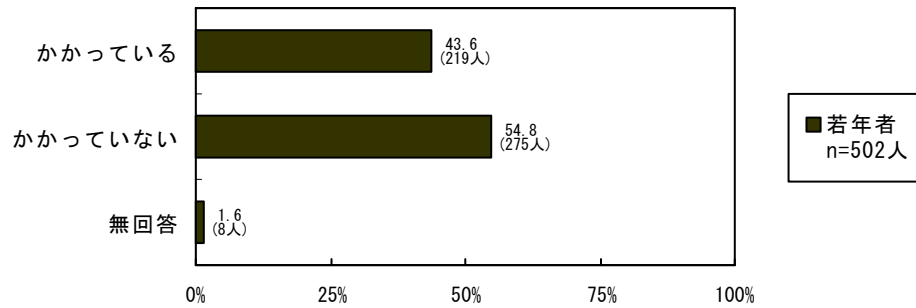


表3.2 【性別・年齢別(列)] × 【治療のために医療機関にかかっている(行)】

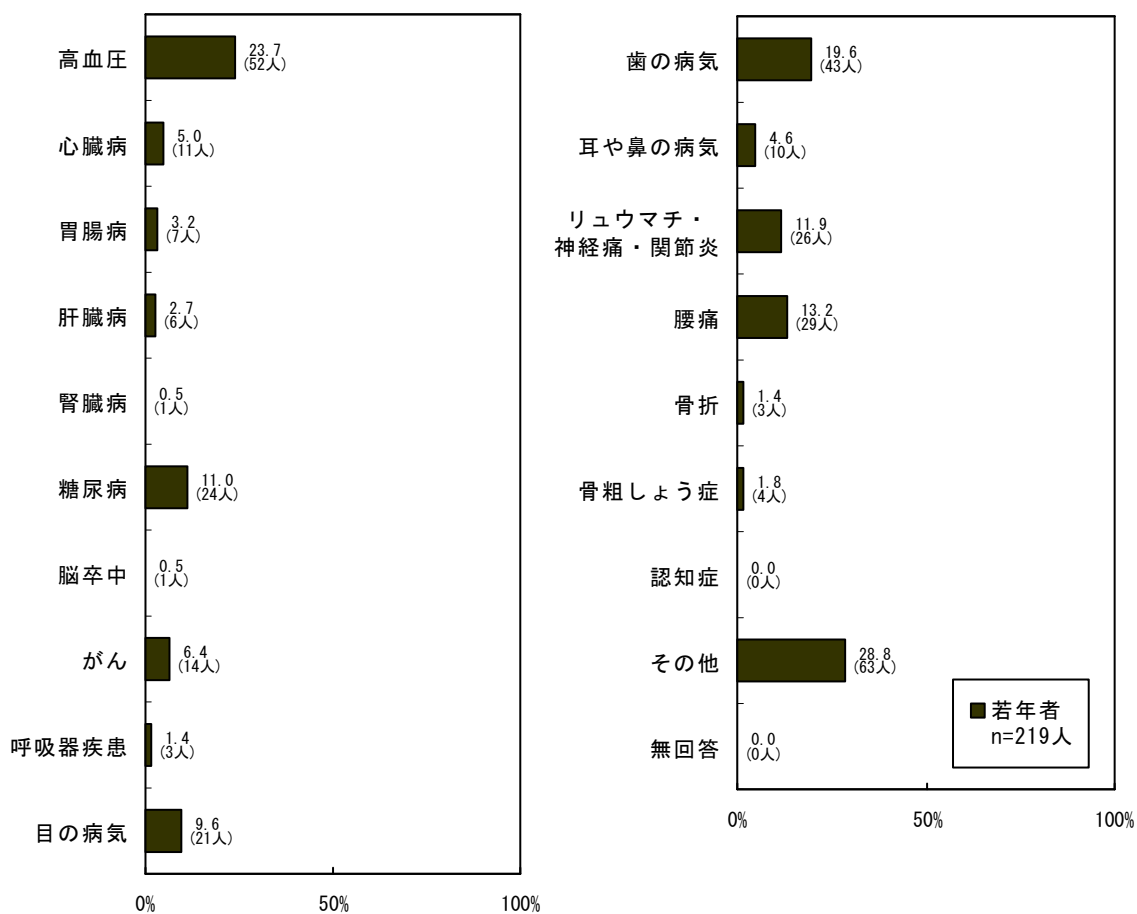
現在、病気などの治療のために医療機関にかかっていますか 上段：人／下段：%

	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
かかっている	219	90	120	9	36	39	33	58	48	5
	43.6	42.7	43.0	75.0	35.0	34.8	42.3	51.3	55.2	55.6
かかっていない	275	117	155	3	66	71	44	53	37	4
	54.8	55.5	55.6	25.0	64.1	63.4	56.4	46.9	42.5	44.4
無回答	8	4	4	0	1	2	1	2	2	0
	1.6	1.9	1.4	0.0	1.0	1.8	1.3	1.8	2.3	0.0

《問11で「1 かかっている」とお答えの方にお伺いします》
 問11-1 あなたが治療されている病名は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

治療している病名では、「高血圧」が23.7%、「歯の病気」が19.6%、「腰痛」が13.2%、「リュウマチ・神経痛・関節炎」が11.9%となっています。

図3.11.2 治療している病名



問12 あなたは、健康維持のために何か行っていますか。(〇は1つだけ)

健康維持のために何か実行しているでは、「実行している」が76.3%、「特に何もしていない」が22.5%となっています。

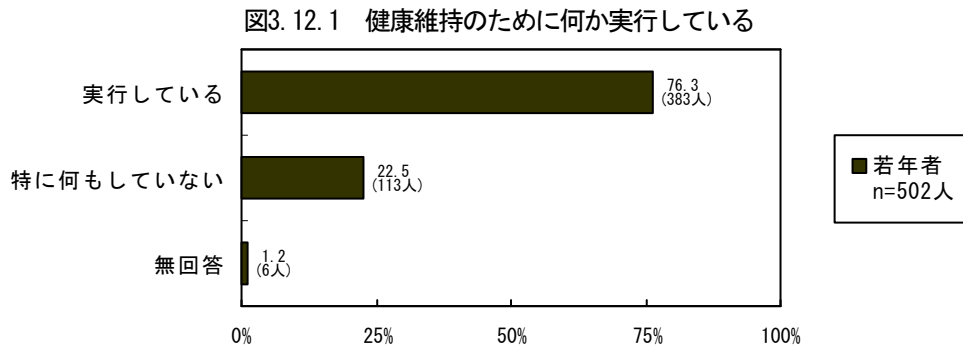


表3.3.1 【性別・年齢別 (列)】 × 【健康維持のために何か実行している (行)】

健康維持のために何か行っていますか 上段：人/下段：%

	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
実行している	383 76.3	154 73.0	219 78.5	10 83.3	75 72.8	83 74.1	63 80.8	83 73.5	72 82.8	7 77.8
特に何もしていない	113 22.5	54 25.6	57 20.4	2 16.7	27 26.2	29 25.9	14 17.9	29 25.7	12 13.8	2 22.2
無回答	6 1.2	3 1.4	3 1.1	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.3	1 0.9	3 3.4	0 0.0

表3.3.2 経年比較 健康維持のために何か実行している

	全体	実行している	特に何もして いない	無回答
平成16年	607人	74.8%	24.4%	0.8%
平成19年	502人	76.3%	22.5%	1.2%

《問12で「1 実行している」とお答えの方にお伺いします》
 問12-1 それはどのような方法ですか。(あてはまるものすべてに○)

実行している方法では、「バランスのよい食事を心がけている」が59.0%、「運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている」が58.2%、「定期的に健康診断を受けている」が56.4%、「歯磨きを励行している」が52.5%、「規則正しい生活をしている」が43.1%、「なるべく外出するように心がけている」が24.3%となっています。

図3.12.2 実行している方法

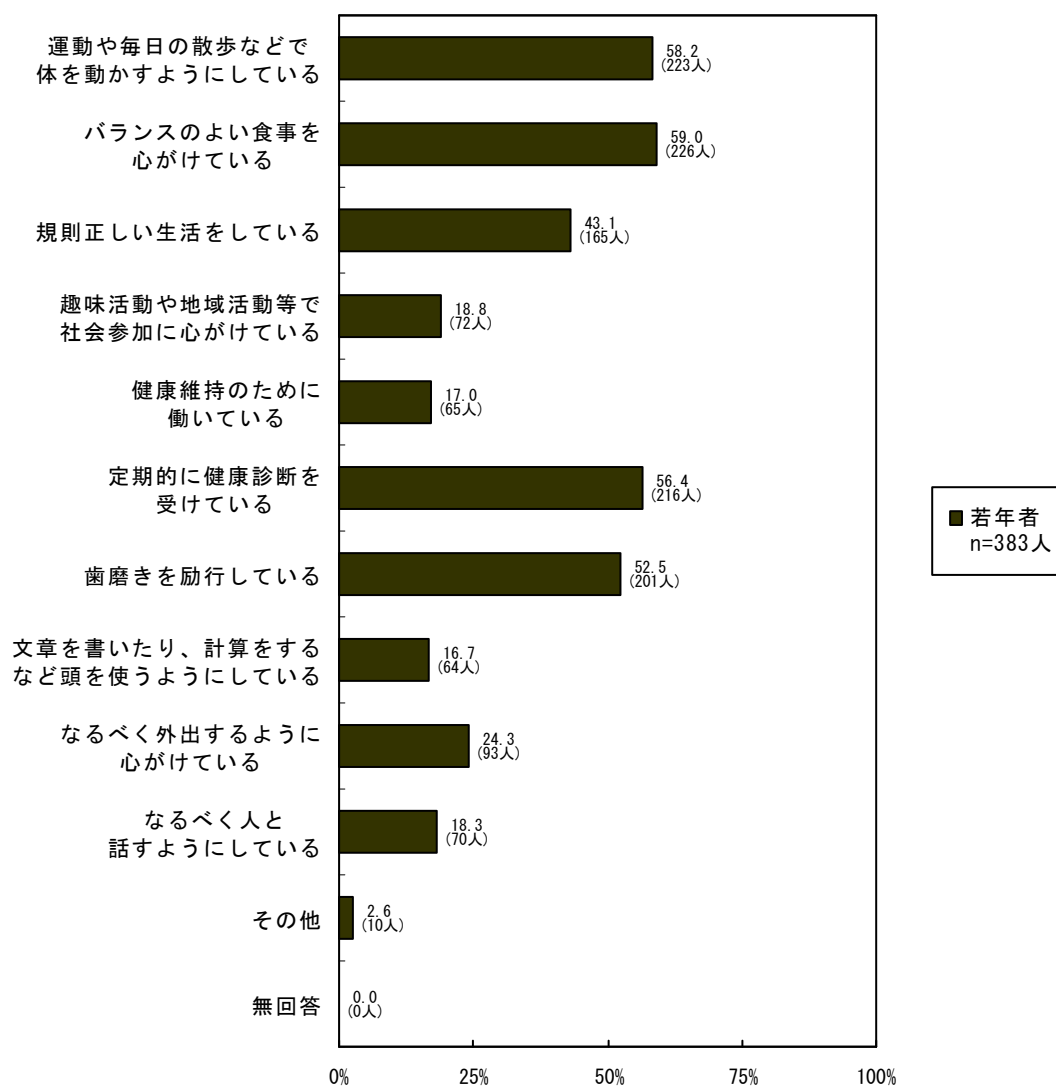


表3.3.3 経年比較 実行している方法

	平成16年	平成19年
全体	454人	383人
運動や毎日の散歩などで体を動かすようにしている	51.8%	58.2%
バランスのよい食事を心がけている	57.7%	59.0%
規則正しい生活をしている	39.2%	43.1%
趣味活動や地域活動等で社会参加に心がけている	19.4%	18.8%
健康維持のために働いている	19.6%	17.0%
定期的に健康診断を受けている	52.9%	56.4%
歯磨きを励行している	53.1%	52.5%
文章を書いたり、計算をするなど頭を使うようにしている	20.5%	16.7%
なるべく外出するように心がけている	25.3%	24.3%
なるべく人と話すようにしている	20.0%	18.3%
その他	4.4%	2.6%
無回答	0.2%	0.0%

「問12で「2 特に何もしていない」とお答えの方にお伺いします」
 問12-2 その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

特に何もしていない理由では、「余裕がない」が41.6%、「時間がない」が40.7%、「必要性を感じない」「一人では長続きしない」が各23.0%となっています。

図3.12.3 特に何もしていない理由

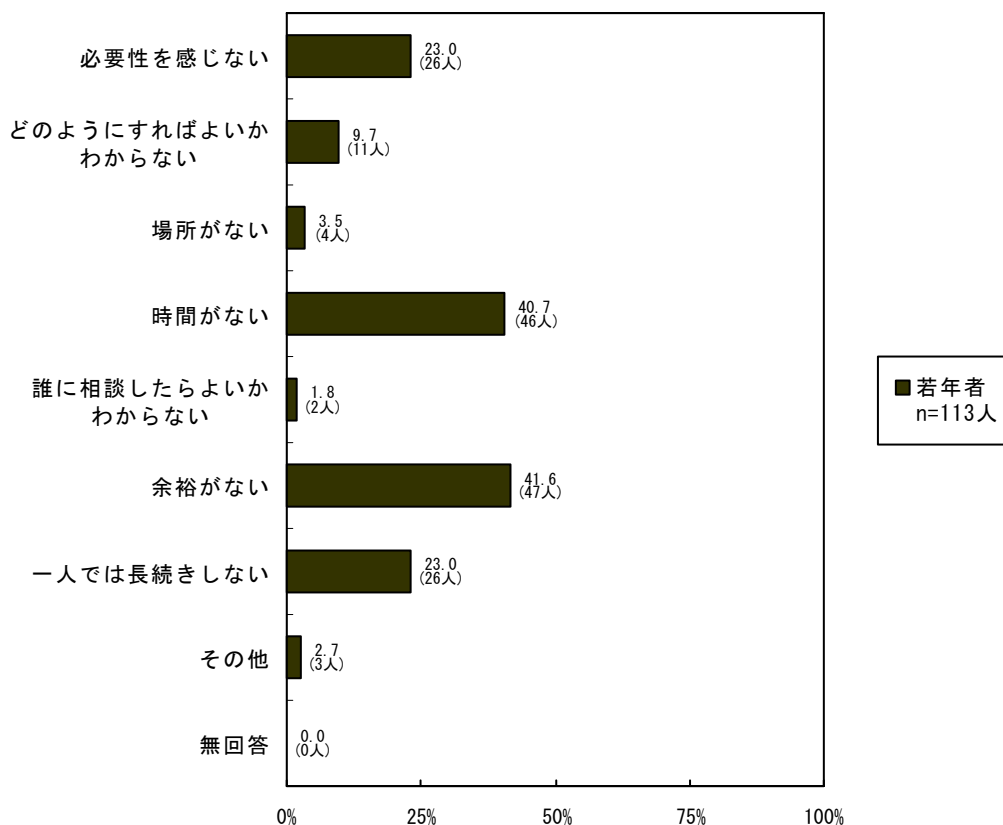


表3.3.4 【性別・年齢別 (列)】 × 【特に何もしていない理由 (行)】

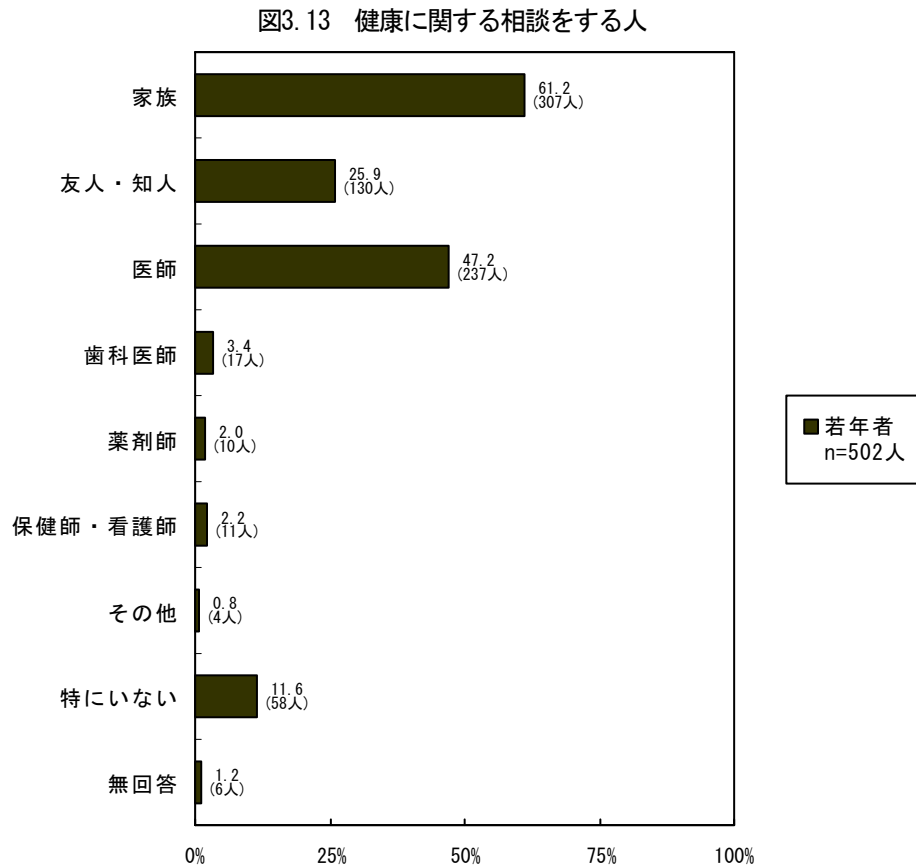
特に何もしていない理由 (複数回答)

上段：人 / 下段：%

対象者	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	113	54	57	2	27	29	14	29	12	2
必要性を感じない	26 23.0	15 27.8	11 19.3	0 0.0	4 14.8	5 17.2	4 28.6	8 27.6	5 41.7	0 0.0
どのようにすればよいかわからない	11 9.7	2 3.7	9 15.8	0 0.0	3 11.1	1 3.4	1 7.1	5 17.2	1 8.3	0 0.0
場所がない	4 3.5	2 3.7	2 3.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	2 6.9	1 8.3	0 0.0
時間がない	46 40.7	26 48.1	18 31.6	2 100.0	14 51.9	10 34.5	7 50.0	9 31.0	5 41.7	1 50.0
誰に相談したらよいかわからない	2 1.8	0 0.0	2 3.5	0 0.0	1 3.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
余裕がない	47 41.6	22 40.7	23 40.4	2 100.0	11 40.7	17 58.6	6 42.9	9 31.0	4 33.3	0 0.0
一人では長続きしない	26 23.0	9 16.7	17 29.8	0 0.0	7 25.9	4 13.8	3 21.4	6 20.7	4 33.3	2 100.0
その他	3 2.7	0 0.0	3 5.3	0 0.0	1 3.7	2 6.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

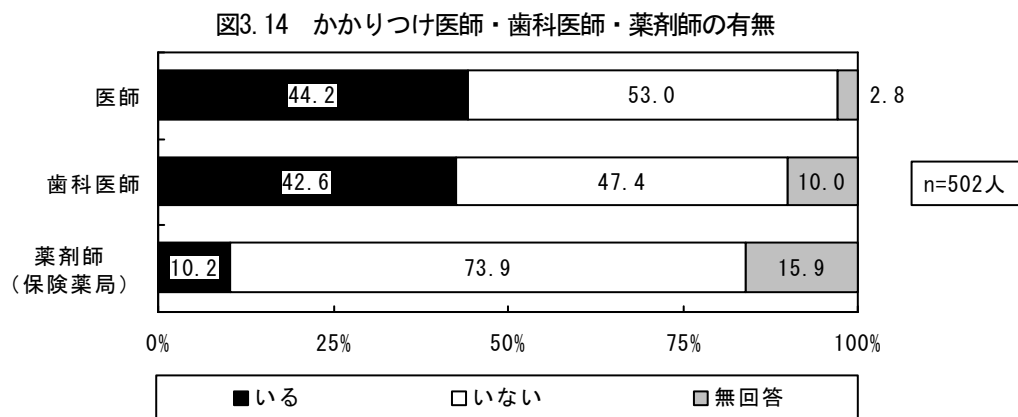
問13 あなたが、健康に関する相談をするのは主に誰ですか。(〇は2つまで)

健康に関する相談をする人では、「家族」が61.2%、「医師」が47.2%、「友人・知人」が25.9%、「特にいない」が11.6%となっています。



問14 あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談・指導を受けることができる、かかりつけの医師や歯科医師や薬剤師がいますか。(それぞれ〇は1つ)

かかりつけ医師・歯科医師・薬剤師の有無では、「いる」が10.2%~44.2%、「いない」が47.4%~73.9%となっています。



4 日常生活について

問15 あなたが、現在生きがいを感じることはどんなことですか。また、今後やりたいのはどんなことですか。

(ア) 生きがいを感じること (あてはまるものすべてに○)

(イ) 今後やりたいこと (あてはまるものすべてに○)

生きがいを感じることは、「家族仲良く暮らしていくこと」が75.7%、「子どもや孫の成長を見守ること」が46.0%、「働くこと」が40.4%、「趣味の活動」が39.6%、「友人や近所とのつきあい」が34.3%、「スポーツ・レクリエーション」が30.9%、「学習や教養を高めるための活動」が18.1%となっています。

図3.15.1 生きがいを感じること

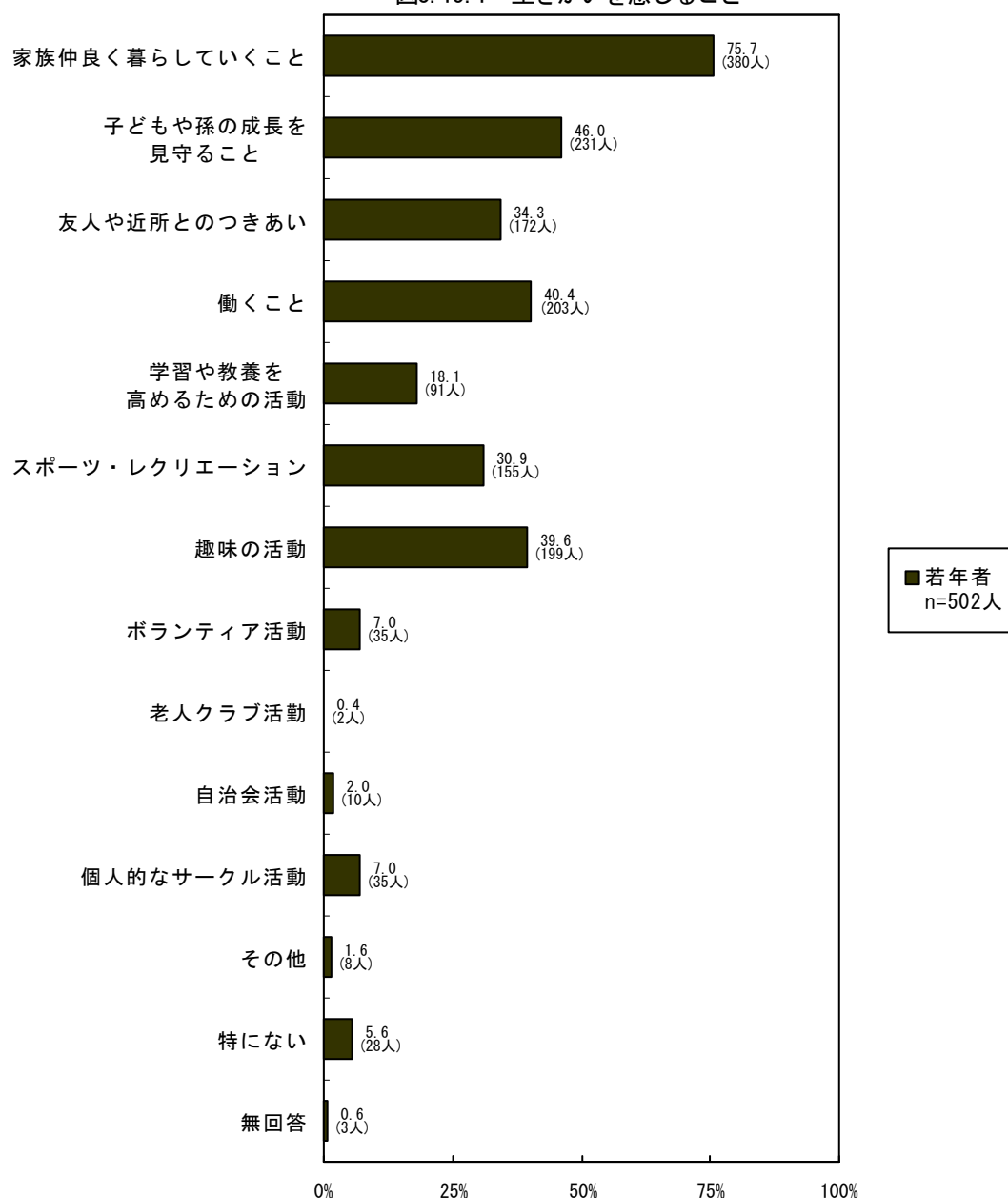


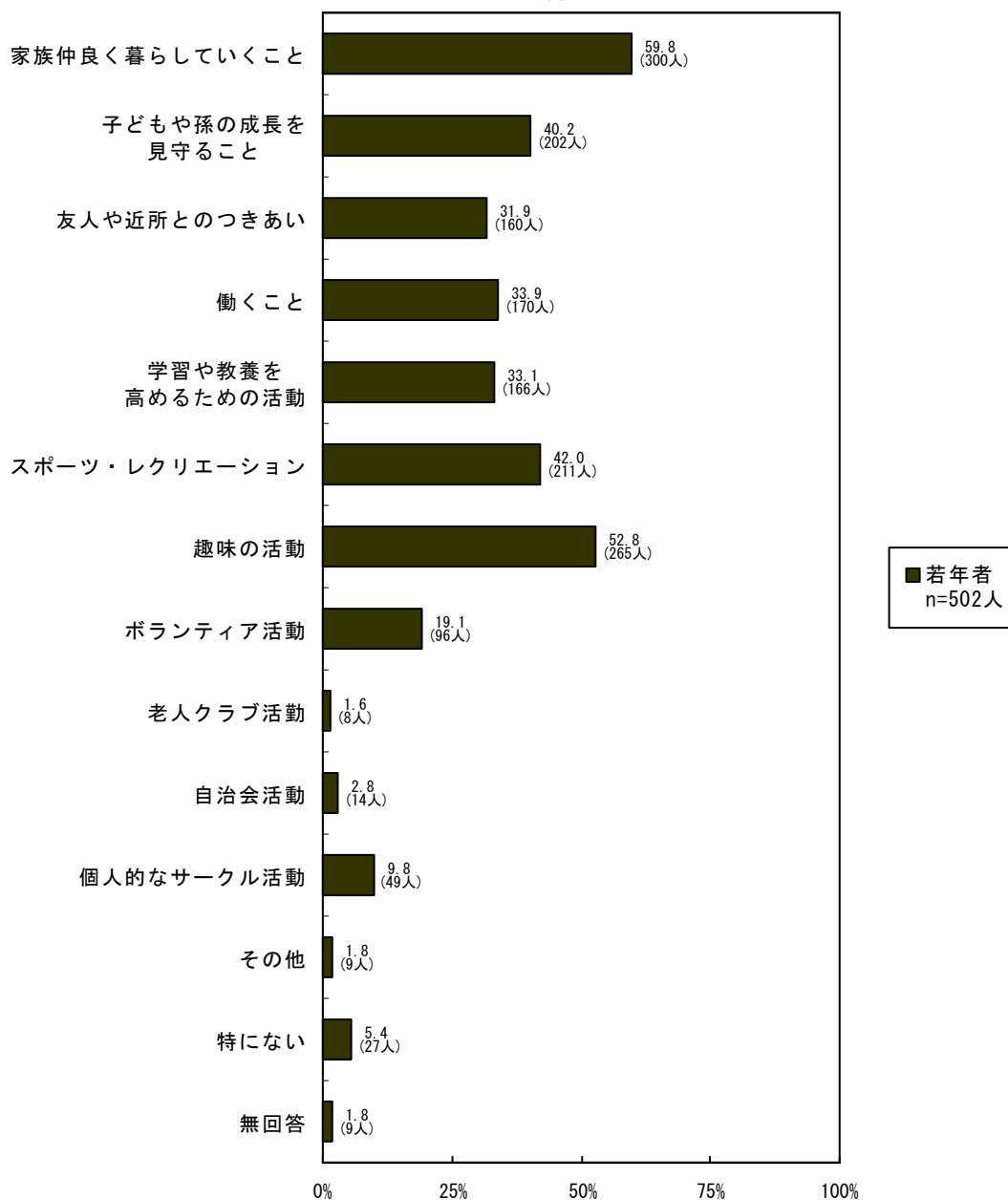
表3.4 【性別・年齢別（列）】×【生きがいを感じること（行）】

生きがいを感じること（複数回答） 上段：人／下段：%

	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
家族仲良く暮らしていくこと	380 75.7	147 69.7	223 79.9	10 83.3	83 80.6	89 79.5	58 74.4	81 71.7	62 71.3	7 77.8
子どもや孫の成長を見守ること	231 46.0	83 39.3	142 50.9	6 50.0	53 51.5	59 52.7	31 39.7	43 38.1	39 44.8	6 66.7
友人や近所とのつきあい	172 34.3	40 19.0	127 45.5	5 41.7	32 31.1	40 35.7	26 33.3	36 31.9	32 36.8	6 66.7
働くこと	203 40.4	97 46.0	100 35.8	6 50.0	49 47.6	49 43.8	34 43.6	39 34.5	28 32.2	4 44.4
学習や教養を高めるための活動	91 18.1	35 16.6	53 19.0	3 25.0	16 15.5	24 21.4	14 17.9	22 19.5	12 13.8	3 33.3
スポーツ・レクリエーション	155 30.9	73 34.6	80 28.7	2 16.7	26 25.2	43 38.4	22 28.2	37 32.7	25 28.7	2 22.2
趣味の活動	199 39.6	89 42.2	107 38.4	3 25.0	41 39.8	43 38.4	32 41.0	44 38.9	39 44.8	0 0.0
ボランティア活動	35 7.0	9 4.3	25 9.0	1 8.3	2 1.9	6 5.4	7 9.0	11 9.7	8 9.2	1 11.1
老人クラブ活動	2 0.4	0 0.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.9	1 1.1	0 0.0
自治会活動	10 2.0	6 2.8	3 1.1	1 8.3	0 0.0	2 1.8	0 0.0	5 4.4	3 3.4	0 0.0
個人的なサークル活動	35 7.0	11 5.2	24 8.6	0 0.0	0 0.0	8 7.1	7 9.0	12 10.6	8 9.2	0 0.0
その他	8 1.6	2 0.9	6 2.2	0 0.0	0 0.0	3 2.7	1 1.3	4 3.5	0 0.0	0 0.0
特にない	28 5.6	16 7.6	11 3.9	1 8.3	3 2.9	7 6.3	3 3.8	10 8.8	4 4.6	1 11.1
無回答	3 0.6	2 0.9	1 0.4	0 0.0	1 1.0	0 0.0	1 1.3	0 0.0	1 1.1	0 0.0

今後やりたいことでは、「家族仲良く暮らしていくこと」が59.8%、「趣味の活動」が52.8%、「スポーツ・レクリエーション」が42.0%、「子どもや孫の成長を見守ること」が40.2%、「働くこと」が33.9%、「学習や教養を高めるための活動」が33.1%、「友人や近所とのつきあい」が31.9%、「ボランティア活動」が19.1%となっています。

図3.15.2 今後やりたいこと



問16 あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか。(〇は1つだけ)

隣近所の人との交流の程度では、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が47.8%、「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が26.3%、「簡単な頼みごとならできる程度」が12.9%となっています。

図3.16 隣近所の人との交流の程度

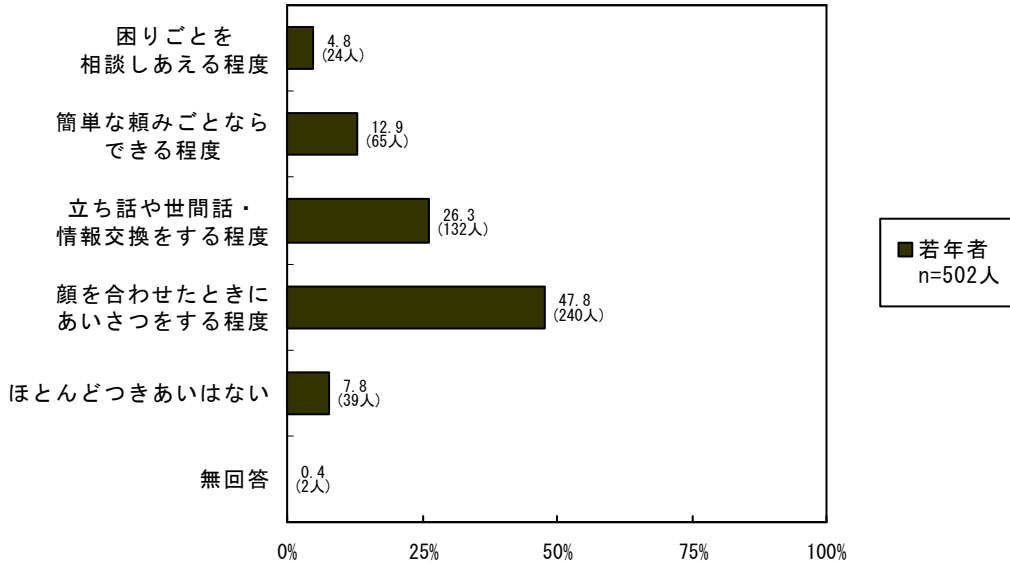


表3.5.1 【性別・年齢別(列)] × 【隣近所の人との交流の程度(行)]

ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか

	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
困りごとを相談しあえる程度	24	3	19	2	5	3	3	6	5	2
簡単な頼みごとなどならできる程度	65	19	46	0	12	13	12	13	13	2
立ち話や世間話・情報交換をする程度	132	41	85	6	19	30	19	28	33	3
顔を合わせたときにあいさつをする程度	240	119	118	3	58	56	35	57	32	2
ほとんどつきあいはない	39	29	9	1	9	8	9	9	4	0
無回答	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0
	0.4	0.0	0.7	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0

上段：人／下段：%

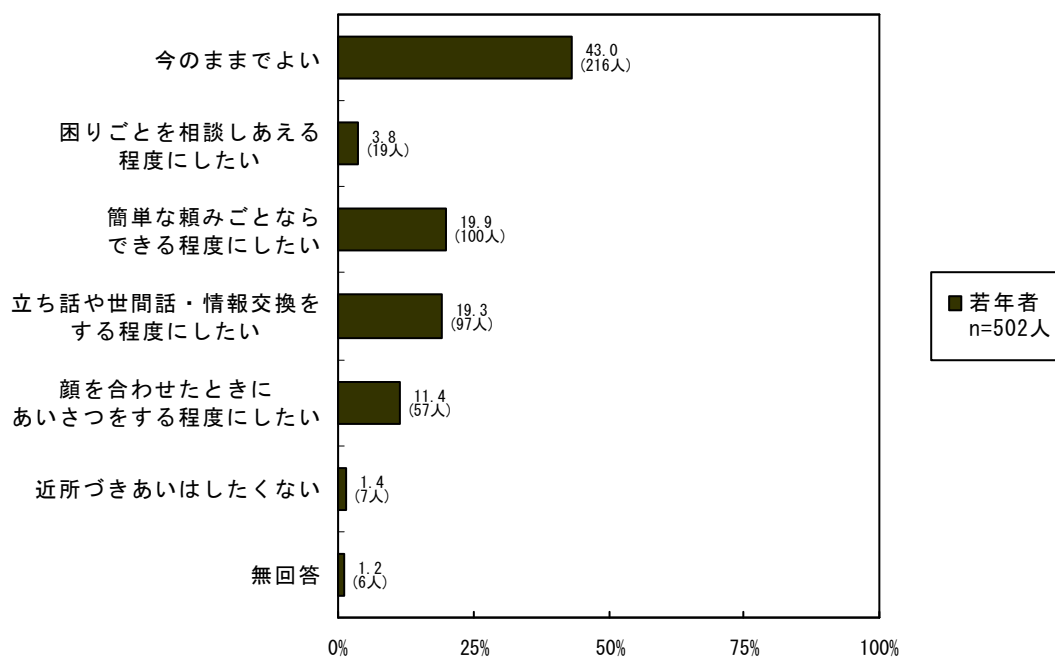
表3.5.2 経年比較 隣近所の人との交流の程度

	全体	困りごとを相談しあえる程度	簡単な頼みごとならできる程度	立ち話や世間話・情報交換をする程度	顔を合わせたときにあいさつをする程度	ほとんどつきあいはない	無回答
平成16年	607人	4.8%	11.9%	23.1%	49.1%	10.7%	0.5%
平成19年	502人	5.1%	12.9%	26.3%	43.2%	6.5%	1.7%

問17 隣近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか。(〇は1つだけ)

隣近所の人との交流についての今後の意向では、「今のままでよい」が43.0%、「簡単な頼みごととならできる程度にしたい」が19.9%、「立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい」が19.3%、「顔を合わせたときにあいさつをする程度にしたい」が11.4%となっています。

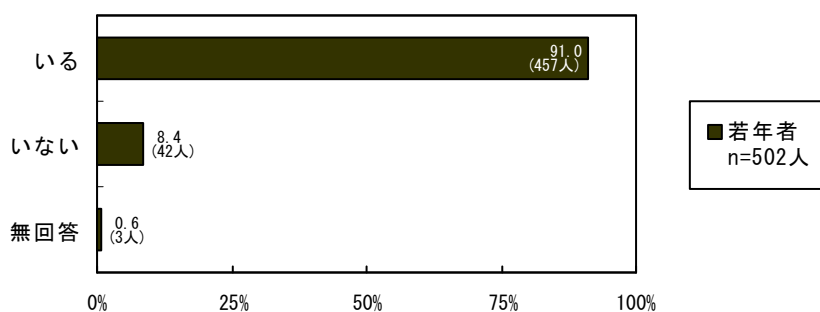
図3.17 隣近所の人との交流についての今後の意向



問18 あなたは、悩みや困ったことがあった場合、相談する人がいますか。(〇は1つだけ)

悩みや困ったことを相談する人の有無では、「いる」が91.0%、「いない」が8.4%となっています。

図3.18.1 悩みや困ったことを相談する人の有無

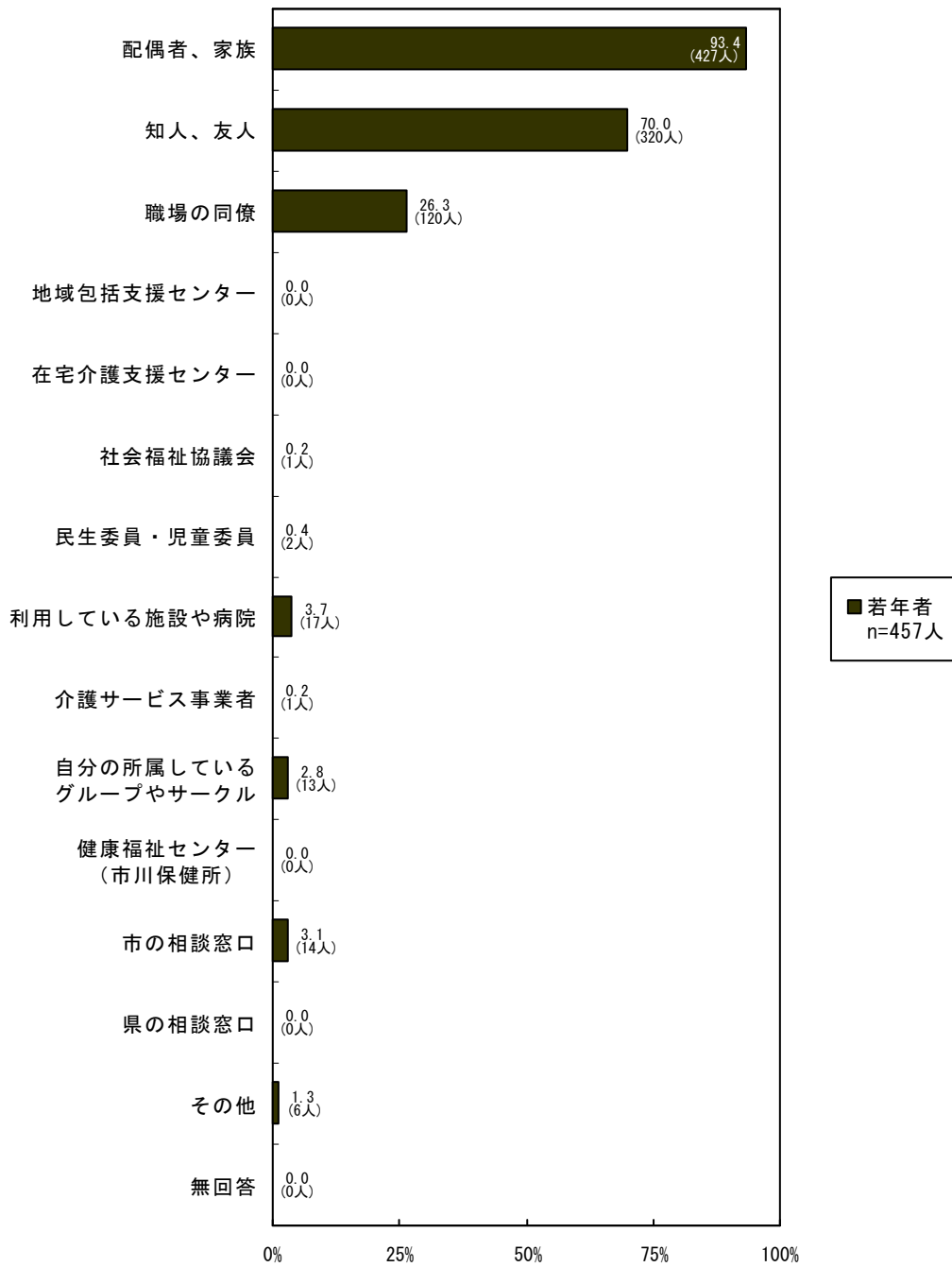


「1 いる」とお答えの方にお伺いします」

問18-1 あなたは普段、悩みや困ったことをだれ（どこ）に相談しますか。
（あてはまるものすべてに○）

悩みや困ったことの相談相手（場所）では、「配偶者、家族」が93.4%、「知人、友人」が70.0%、「職場の同僚」が26.3%となっています。

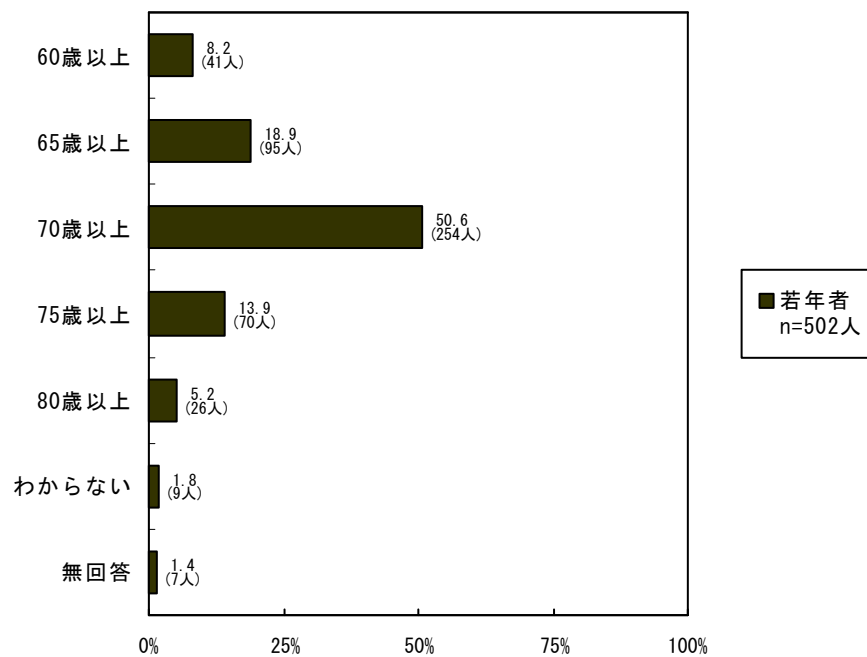
図3.18.2 悩みや困ったことの相談相手（場所）



問19 あなたは、何歳以上を「高齢者」と考えていますか。(〇は1つだけ)

何歳以上を「高齢者」と考えるでは、「70歳以上」が50.6%、「65歳以上」が18.9%、「75歳以上」が13.9%となっています。

図3.19 何歳以上を「高齢者」と考える



5 介護保険について

問20 介護保険制度について、あなたはその制度の内容を知っていますか。(ア～オのそれぞれの項目について、1か2を○で囲んでください)

介護保険制度の内容の周知では、「知っている」の割合順にみると「介護サービスを受けるには要介護認定の申請が必要なこと」が78.3%、「40歳以上の人が被保険者になり、保険料を払うこと」が74.3%、「介護サービスを受ける場合は、ケアマネジャーに相談すること」が51.2%となっています。「知らない」の割合順にみると「不満や問題があるときには、申し立てることができること」が60.6%、「サービスを受ける際に、利用料の1割を自己負担すること」が48.6%、「介護サービスを受ける場合は、ケアマネジャーに相談すること」が47.2%となっています。

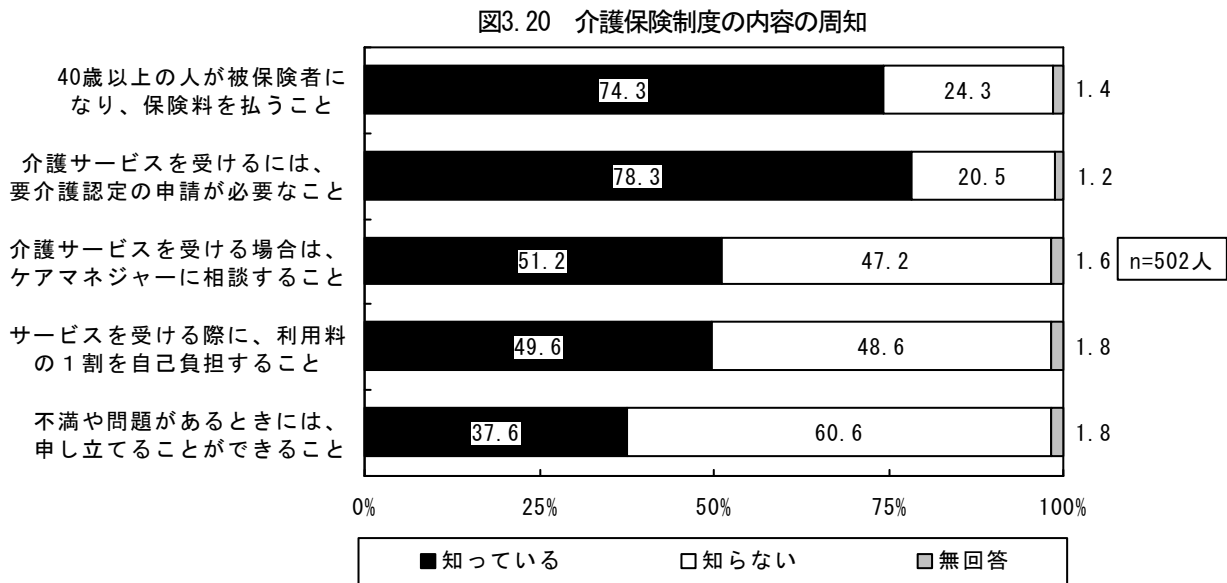


表3.6 経年比較 介護保険制度の内容の周知
(経年比較・40歳以上の人が被保険者になり、保険料を払うこと)

	合計	知っている	知らない	無回答
平成16年度	607人	75.8%	22.2%	2.0%
平成19年度	502人	74.3%	24.3%	1.4%

(経年比較・介護サービスを受けるには、要介護認定の申請が必要なこと)

	合計	知っている	知らない	無回答
平成16年度	607人	75.0%	23.1%	2.0%
平成19年度	502人	78.3%	20.5%	1.2%

(経年比較・介護サービスを受ける場合は、ケアマネジャーに相談すること)

	合計	知っている	知らない	無回答
平成16年度	607人	46.3%	51.1%	2.6%
平成19年度	502人	51.2%	47.2%	1.6%

(経年比較・介護サービスを受ける際に、サービス利用者が利用料の1割を自己負担すること)

	合計	知っている	知らない	無回答
平成16年度	607人	51.7%	46.1%	2.1%
平成19年度	502人	49.6%	48.6%	1.8%

(経年比較・不服や苦情があるときは、申し立てることができること)

	合計	知っている	知らない	無回答
平成16年度	607人	33.8%	62.9%	3.3%
平成19年度	502人	37.6%	60.6%	1.8%

問21 介護保険制度は、介護を家族だけではなく、社会全体で支えあっているという趣旨で、税金と40歳以上の方の保険料、本人の自己負担で費用を賄うというしくみになっています。この介護保険が導入されて7年以上が経過しましたが、あなたは、この制度についてどのように思いますか。あなたのお気持ちに近いものを選んでください。(○は1つだけ)

介護保険制度についての考えでは、「よい」が34.1%、「わからない」が32.7%、「あまりよくない」が18.3%となっています。

図3.21 介護保険制度についての考え

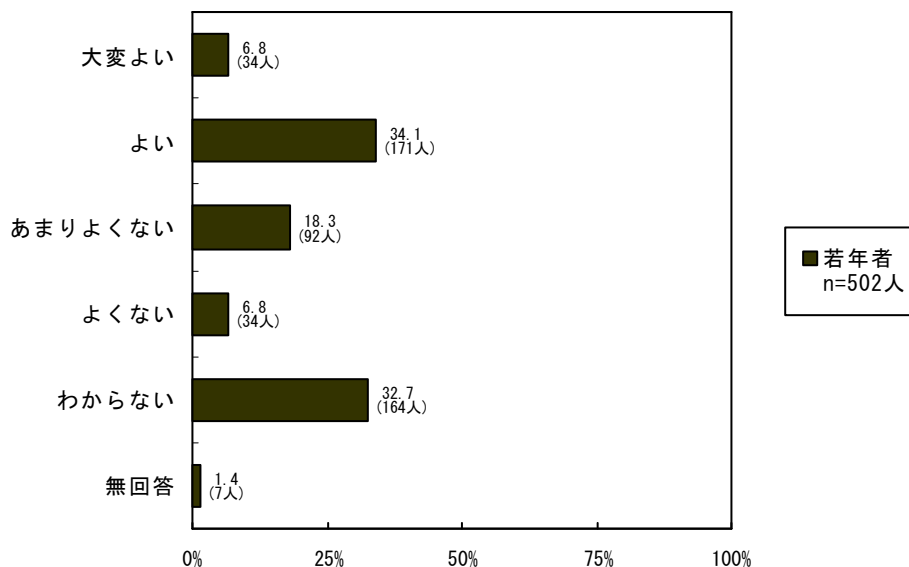


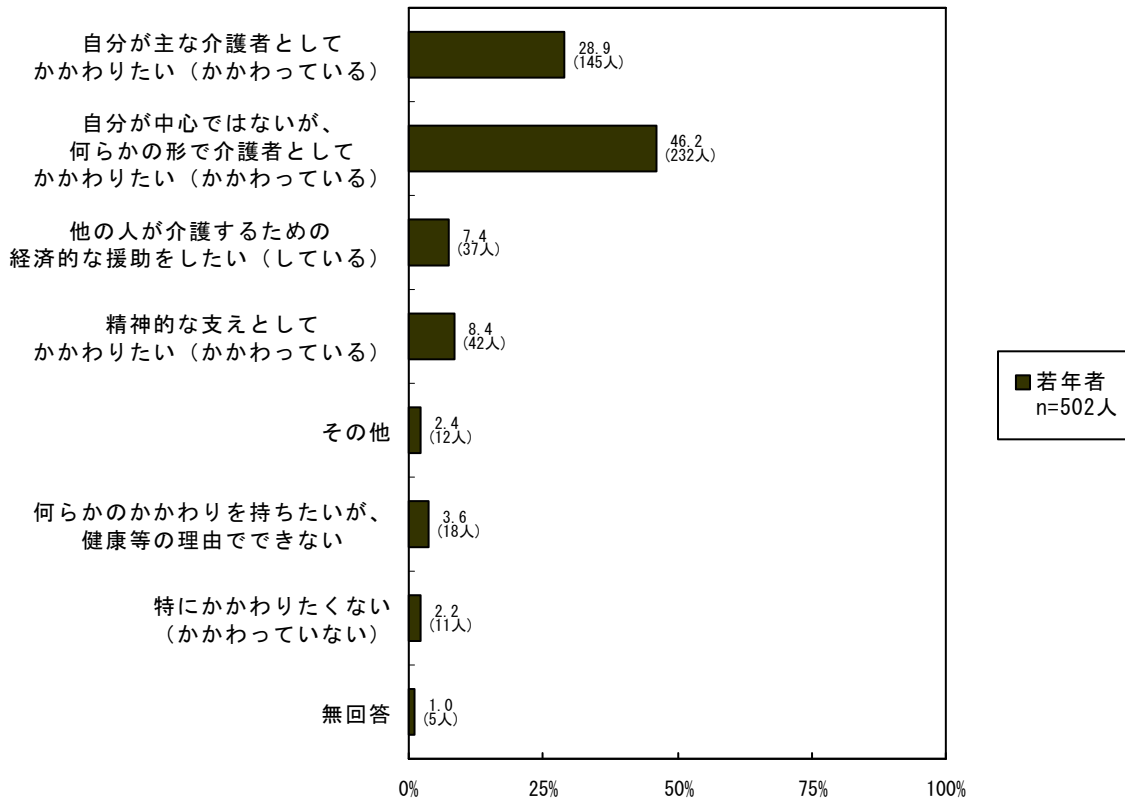
表3.7 【性別・年齢別(列)】×【介護保険制度についての考え(行)】

介護保険制度についての考え	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	無回答
		上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%	上段:人/下段:%
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
大変よい	34 6.8	17 8.1	17 6.1	0 0.0	3 2.9	4 3.6	5 6.4	12 10.6	10 11.5	0 0.0
よい	171 34.1	76 36.0	93 33.3	2 16.7	26 25.2	37 33.0	29 37.2	35 31.0	41 47.1	3 33.3
あまりよくない	92 18.3	42 19.9	45 16.1	5 41.7	15 14.6	25 22.3	16 20.5	20 17.7	12 13.8	4 44.4
よくない	34 6.8	17 8.1	17 6.1	0 0.0	9 8.7	9 8.0	4 5.1	7 6.2	5 5.7	0 0.0
わからない	164 32.7	56 26.5	104 37.3	4 33.3	49 47.6	35 31.3	24 30.8	35 31.0	19 21.8	2 22.2
無回答	7 1.4	3 1.4	3 1.1	1 8.3	1 1.0	2 1.8	0 0.0	4 3.5	0 0.0	0 0.0

問22 もしあなたの家族等に介護が必要になったら、どのようなかかわり方をしたいと思いますか。また、現在介護をされている方はどのようにかかわっていますか。(〇は1つだけ)

介護のかかわり方の希望と実践では、「自分が中心ではないが、何らかの形で介護者としてかかわりたい (かかわっている)」が46.2%、「自分が主な介護者としてかかわりたい (かかわっている)」が28.9%となっています。

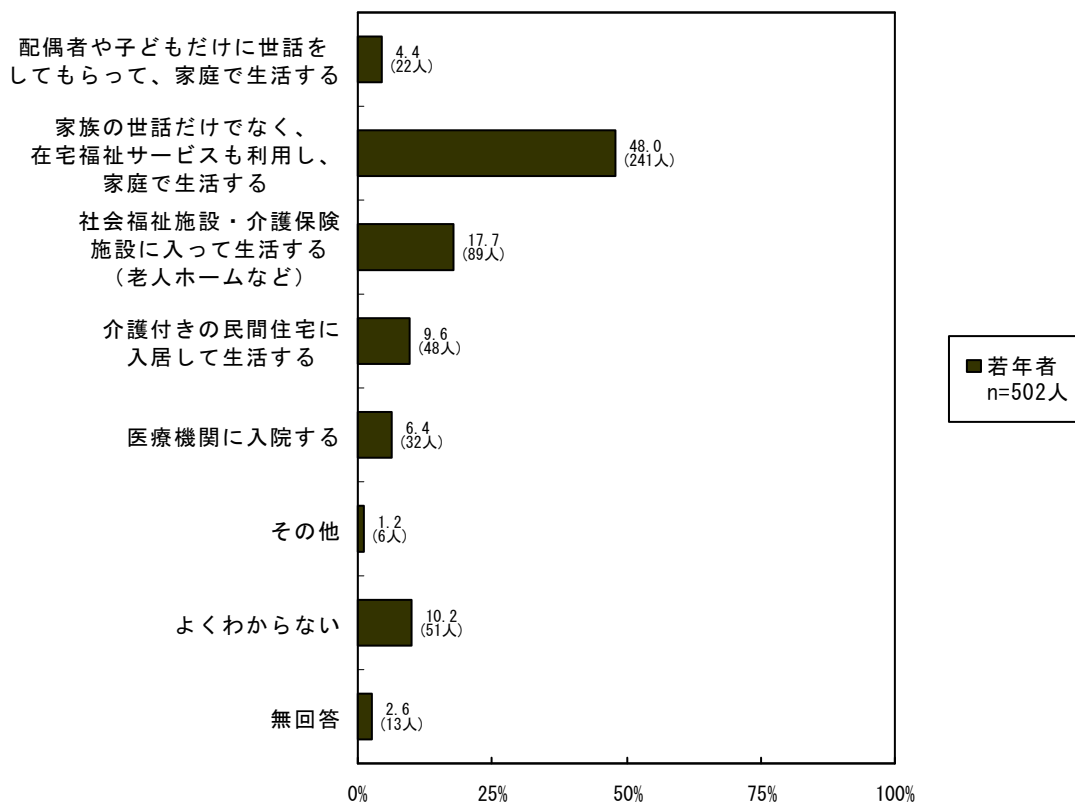
図3.22 介護のかかわり方の希望と実践



問23 あなたが日常生活を送る上で、もし長期間にわたって何らかの手助け（介護など）が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか。（○は1つだけ）

介護が必要になったときの希望では、「家族の世話だけでなく、在宅福祉サービスも利用し、家庭で生活する」が48.0%、「社会福祉施設・介護保険施設に入って生活する（老人ホームなど）」が17.7%、「よくわからない」が10.2%となっています。

図3.23 介護が必要になったときの希望

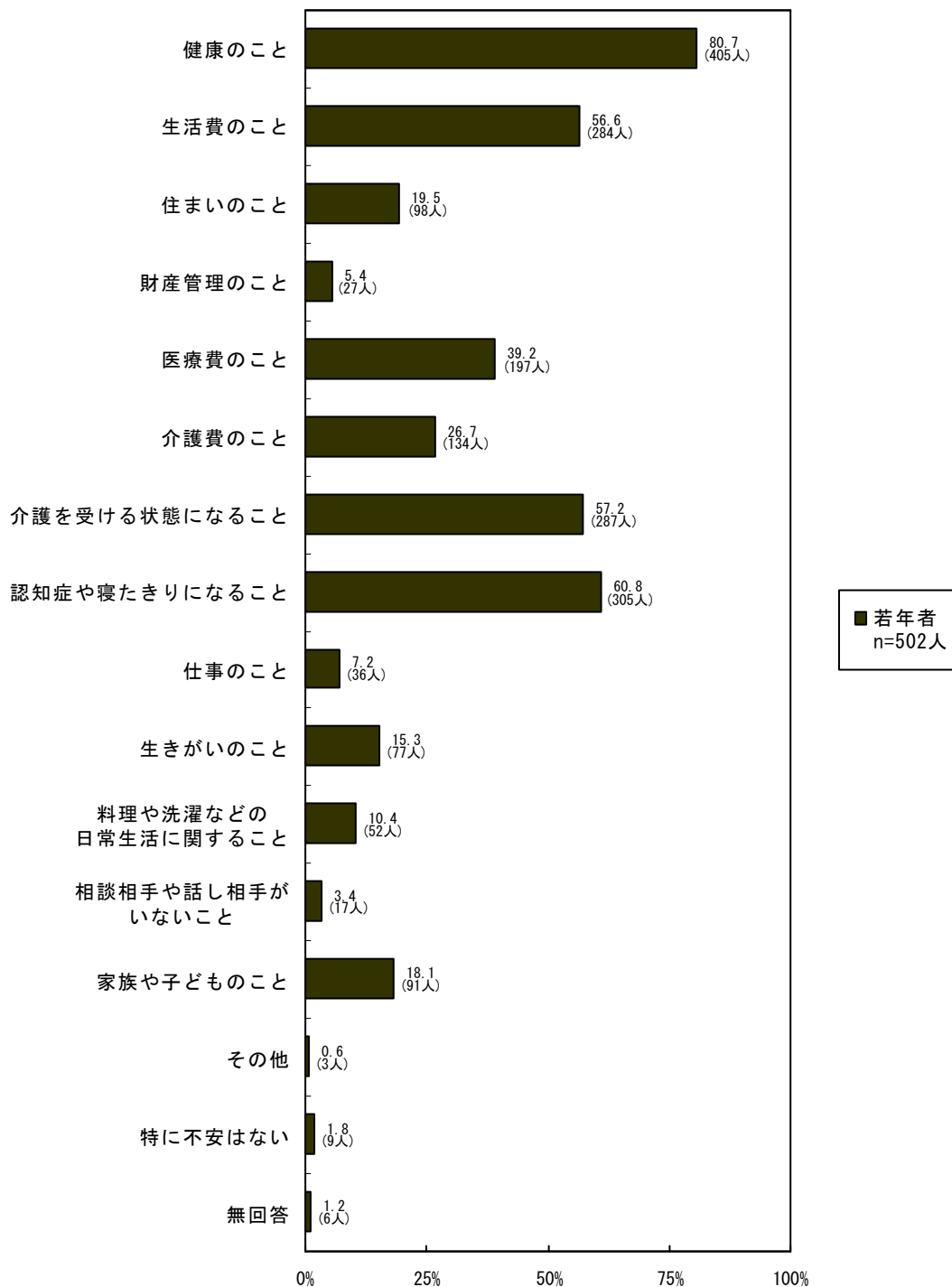


6 保健・福祉サービスについて

問24 あなたは、老後において何が問題になると考えていますか。(〇は5つまで)

老後に問題になることでは、「健康のこと」が80.7%、「認知症や寝たきりになること」が60.8%、「介護を受ける状態になること」が57.2%、「生活費のこと」が56.6%、「医療費のこと」が39.2%、「介護費のこと」が26.7%となっています。

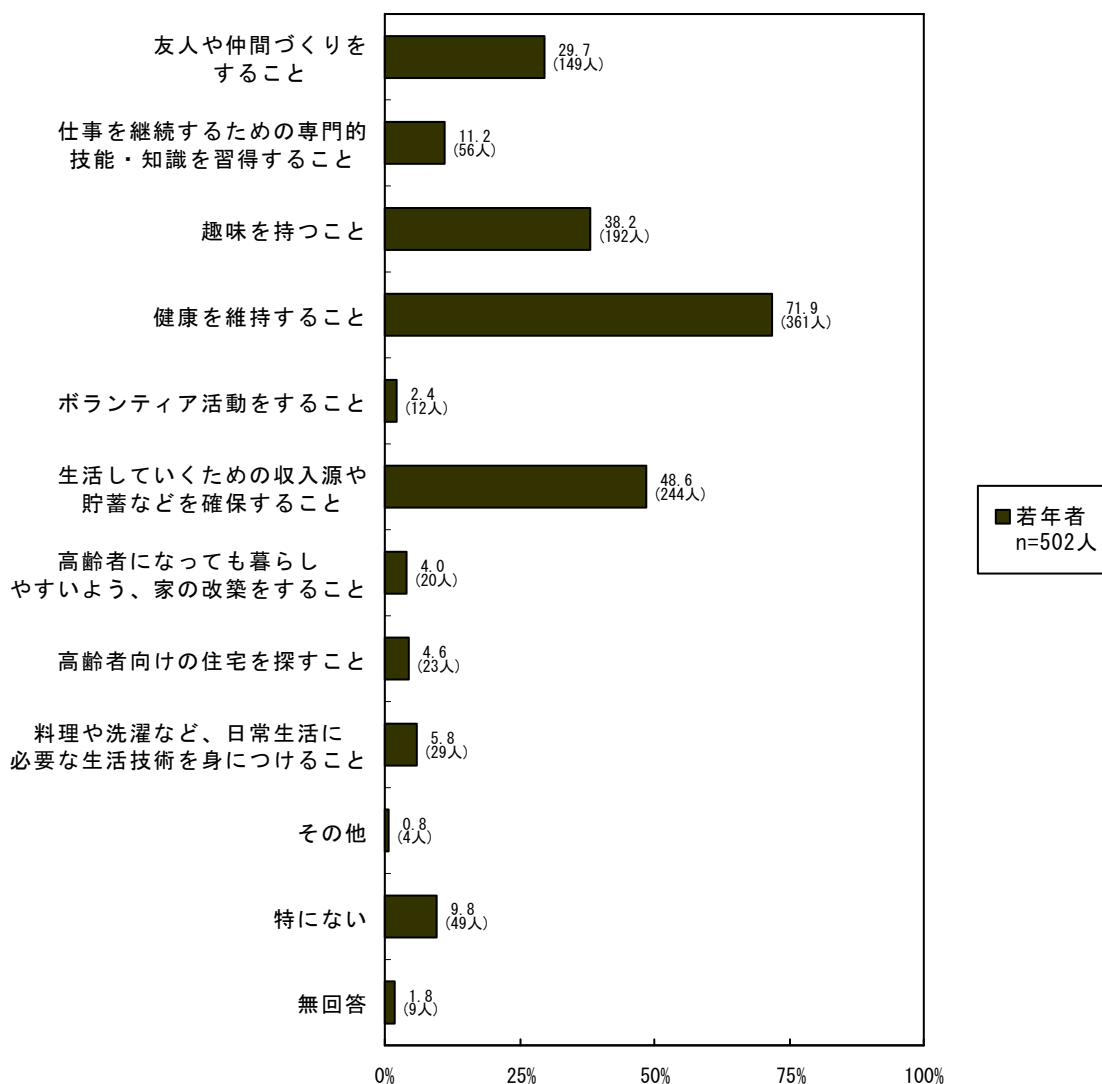
図3.24 老後に問題になること



問25 あなたは、ご自分の将来、特に老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか。次の中から重点を置いているものをお選びください。(〇は3つまで)

老後の生活について重点を置いているものでは、「健康を維持すること」が71.9%、「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が48.6%、「趣味を持つこと」が38.2%、「友人や仲間づくりをすること」が29.7%、「仕事を継続するための専門的・知識を習得すること」が11.2%となっています。

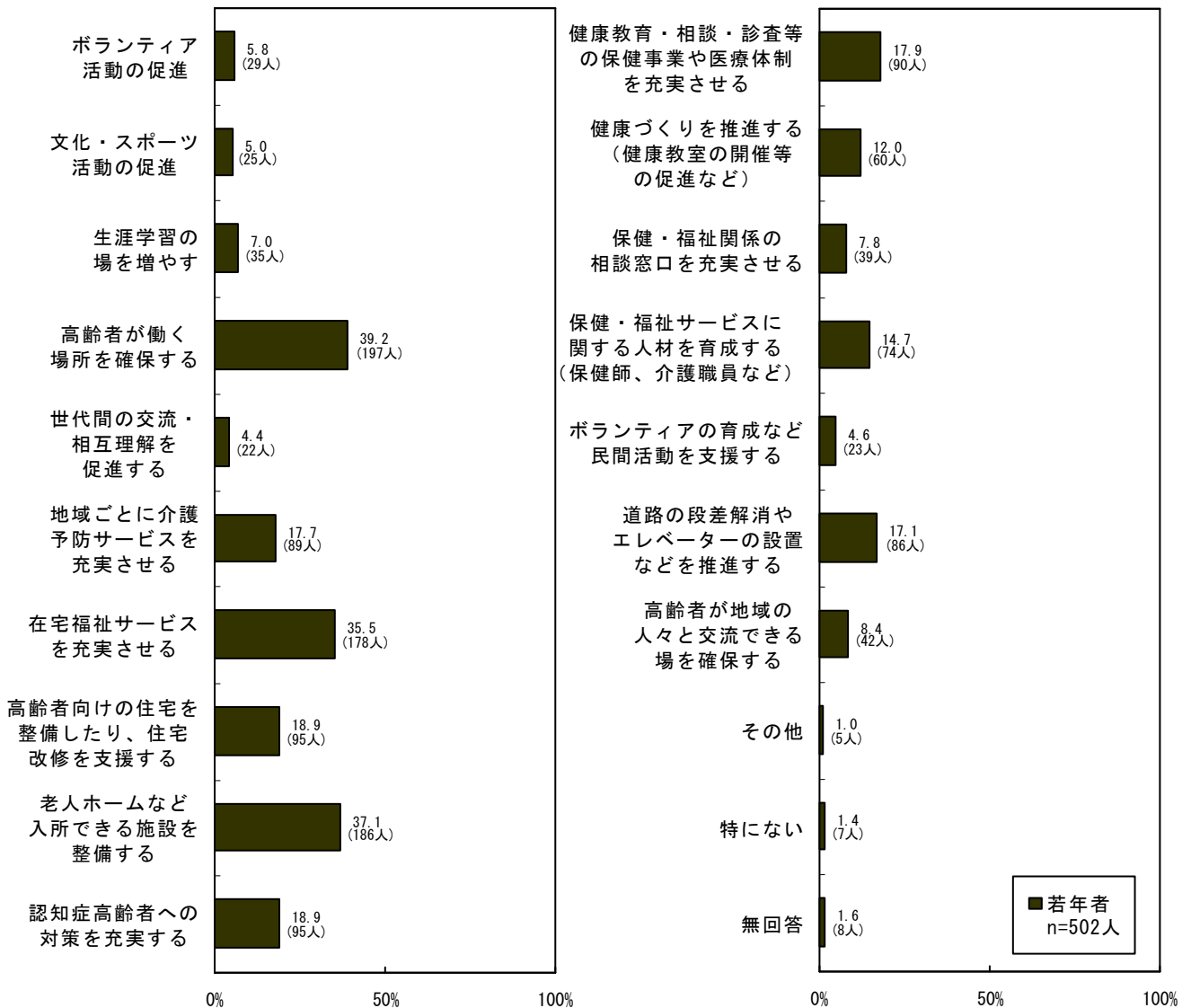
図3.25 老後の生活について重点を置いているもの



問26 あなたは今後、高齢者施策として、どのようなことに力を入れてほしいと思いますか。
(〇は3つまで)

高齢者施策として力を入れてほしいことでは、「高齢者が働く場所を確保する」が39.2%、「老人ホームなど入所できる施設を整備する」が37.1%、「在宅福祉サービスを充実させる」が35.5%、「高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援する」「認知症高齢者への対策を充実する」が各18.9%、「健康教育・相談・診査等の保健事業や医療体制を充実させる」が17.9%、「地域ごとに介護予防サービスを充実させる」が17.7%、「道路の段差解消やエレベーターの設置などを推進する」が17.1%となっています。

図3.26 高齢者施策として力を入れてほしいこと



7 地域における福祉について

問27 あなたは、次の各分野に関する知識、情報をどこから得ていますか。(ア～エのそれぞれの項目について、3つまで数字を○で囲んでください)

知識、情報を得るところでは、「保健・健康づくり」の割合順をみると「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が50.6%、「市の『広報うらやす』」が42.4%、「家族や親類」が28.5%となっています。「高齢者の福祉に関すること」の割合順をみると「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が38.8%、「市の『広報うらやす』」が36.7%、「知らない、わからない」が22.9%となっています。「介護保険に関すること」の割合順をみると「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が39.0%、「知らない、わからない」が25.7%、「市の『広報うらやす』」が24.3%となっています。「地域の助け合いボランティア活動」の割合順をみると「市の『広報うらやす』」が41.4%、「知らない、わからない」が41.2%、「テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等」が14.3%となっています。

表3.8 知識、情報を得るところ

上段：人/下段：%

	保健・健康づくり	高齢者の福祉に関すること	介護保険に関すること	地域の助け合いボランティア活動
対象者	502	502	502	502
家族や親類	143 28.5	88 17.5	84 16.7	28 5.6
近所の人、知人、友人	124 24.7	72 14.3	61 12.2	69 13.7
市の「広報うらやす」	213 42.4	184 36.7	122 24.3	208 41.4
行政の相談窓口	8 1.6	18 3.6	25 5.0	8 1.6
地域包括支援センター	0 0.0	4 0.8	6 1.2	2 0.4
在宅介護支援センター	2 0.4	11 2.2	22 4.4	1 0.2
社会福祉協議会	0 0.0	9 1.8	3 0.6	15 3.0
NPO等の民間団体	0 0.0	2 0.4	2 0.4	5 1.0
テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等	254 50.6	195 38.8	196 39.0	72 14.3
インターネット	95 18.9	49 9.8	49 9.8	36 7.2
その他	17 3.4	10 2.0	15 3.0	4 0.8
知らない、わからない	42 8.4	115 22.9	129 25.7	207 41.2
無回答	18 3.6	19 3.8	20 4.0	24 4.8

問28 あなたは、お住まいの地域のいろいろな行事や活動にどの程度参加していますか。
(○は1つだけ)

地域の行事や活動に参加している程度では、「時々参加している」が31.1%、「あまり参加していない」「全く参加していない」が各28.9%となっています。

図3.28.1 地域の行事や活動に参加している程度

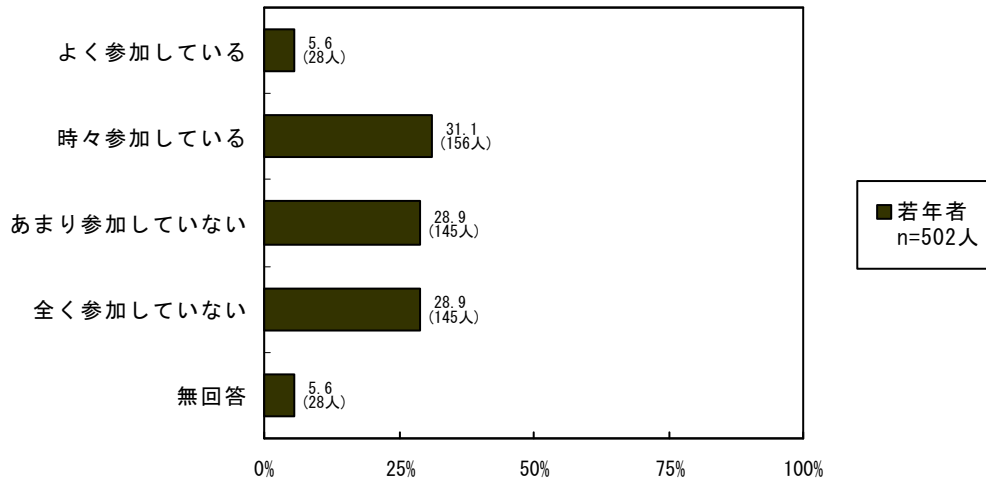


表3.9 【性別・年齢別 (列)】 × 【地域の行事や活動に参加している程度 (行)】

地域のいろいろな行事や活動にどの程度参加していますか

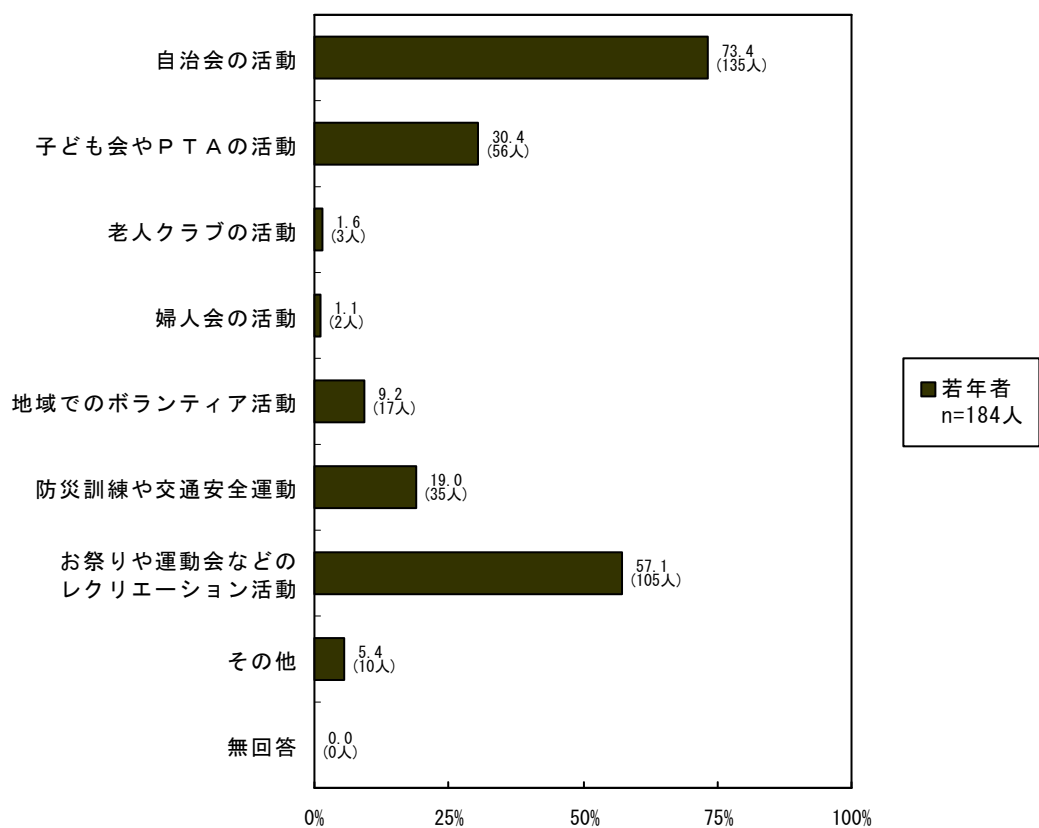
上段：人／下段：%

	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
よく参加している	28	15	11	2	4	6	1	8	8	1
	5.6	7.1	3.9	16.7	3.9	5.4	1.3	7.1	9.2	11.1
時々参加している	156	56	98	2	38	36	29	23	26	4
	31.1	26.5	35.1	16.7	36.9	32.1	37.2	20.4	29.9	44.4
あまり参加していない	145	55	88	2	19	33	27	40	25	1
	28.9	26.1	31.5	16.7	18.4	29.5	34.6	35.4	28.7	11.1
全く参加していない	145	76	66	3	38	34	18	33	20	2
	28.9	36.0	23.7	25.0	36.9	30.4	23.1	29.2	23.0	22.2
無回答	28	9	16	3	4	3	3	9	8	1
	5.6	4.3	5.7	25.0	3.9	2.7	3.8	8.0	9.2	11.1

「問28で「1 よく参加している」「2 時々参加している」とお答えの方にお伺いします」
 問28-1 どのような行事や活動に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

参加している行事では、「自治会の活動」が73.4%、「お祭りや運動会などのレクリエーション活動」が57.1%、「子ども会やPTAの活動」が30.4%、「防災訓練や交通安全運動」が19.0%となっています。

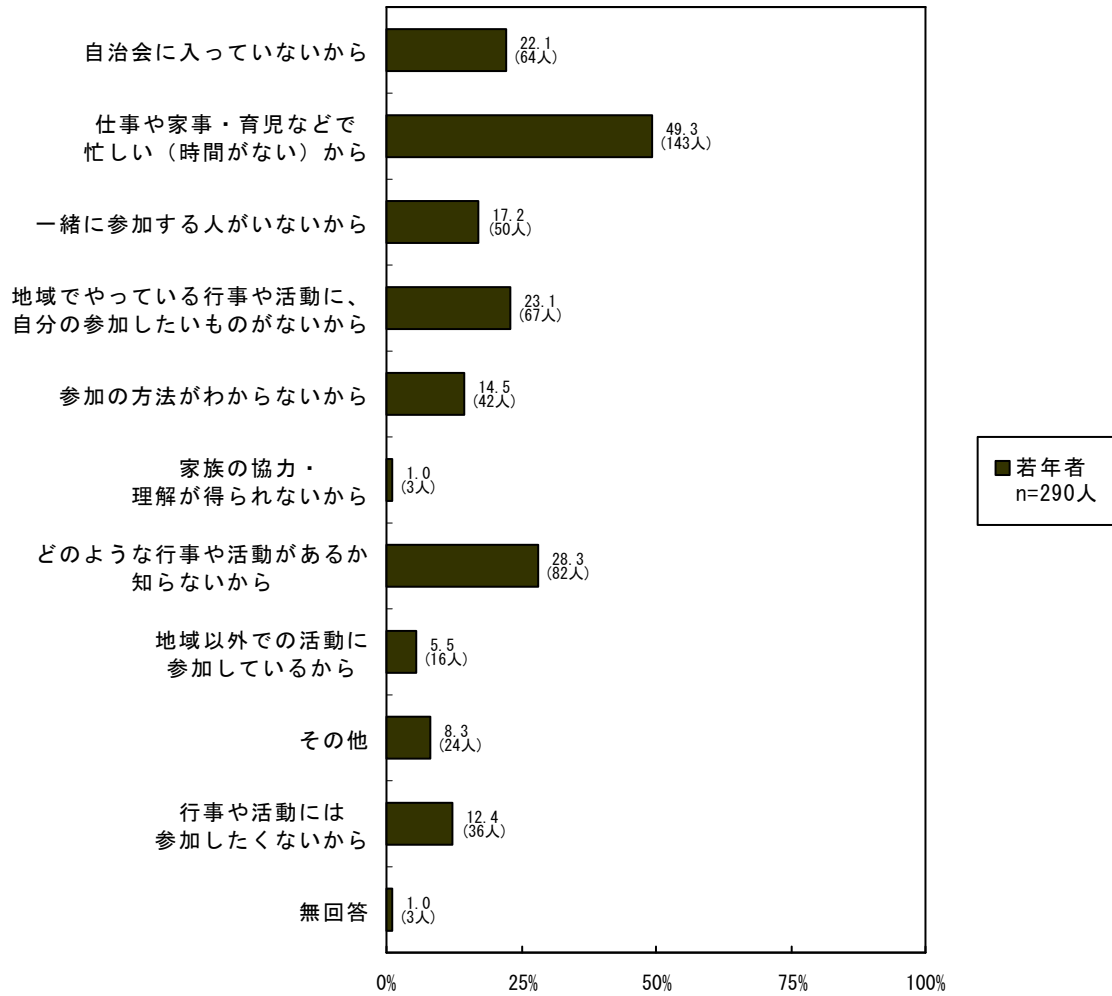
図3.28.2 参加している行事



「問28で「3 あまり参加していない」「4 全く参加していない」とお答えの方にお伺いします」
 問28-2 参加していない理由をお答えください。(〇は3つまで)

参加していない理由では、「仕事や家事・育児などで忙しい(時間がない)から」が49.3%、「どのような行事や活動があるか知らないから」が28.3%、「地域でやっている行事や活動に、自分の参加したいものがないから」が23.1%、「自治会に入っていないから」が22.1%となっています。

図3. 28.3 参加していない理由



問29 あなたは、地域の人々がお互いに支え合っていくうえで大切なことは、どのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

地域の人々が支え合っていくうえで大切なことでは、「隣近所の住民同士の普段からのつきあい」が74.5%、「ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動」が35.9%、「地域が行う防災活動などの日常的な協力活動」が34.3%、「子どものしつけや子育て」が22.5%、「スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり」が18.3%となっています。

図3.29 地域の人々が支え合っていくうえで大切なこと

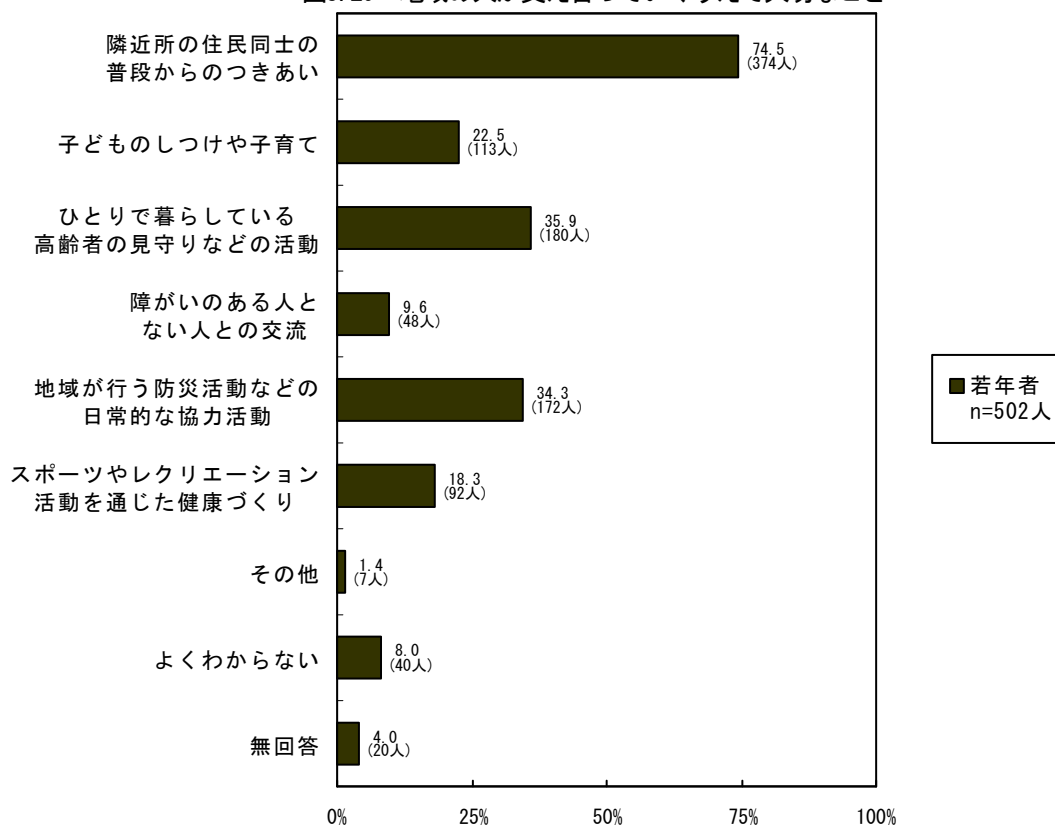


表3.10 【性別・年齢別(列)】×【地域の人々が支え合っていくうえで大切なこと(行)】

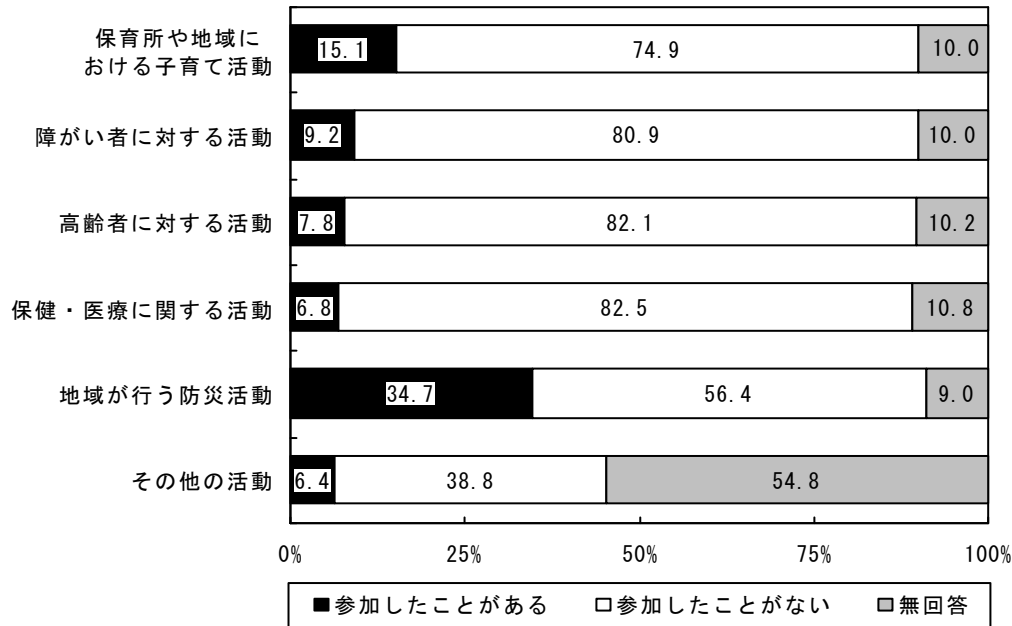
地域の人々が支え合っていくうえで大切と思うこと (複数回答) 上段: 人 / 下段: %

対象者	計	性別			年齢別					
		男性	女性	無回答	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	無回答
対象者	502	211	279	12	103	112	78	113	87	9
隣近所の住民同士の普段からのつきあい	374	150	216	8	76	85	60	81	65	7
子どもへのしつけや子育て	113	56	55	2	29	39	15	14	15	1
ひとりで暮らしている高齢者の見守りなどの活動	180	49	127	4	36	43	24	44	31	2
障がいのある人とない人との交流	48	19	28	1	11	8	7	16	6	0
地域が行う防災活動などの日常的な協力活動	172	68	102	2	38	41	26	35	30	2
スポーツやレクリエーション活動を通じた健康づくり	92	46	43	3	13	19	20	20	19	1
その他	7	5	2	0	3	0	1	3	0	0
よくわからない	40	23	17	0	7	7	10	9	7	0
無回答	20	8	9	3	2	1	2	7	6	2
	4.0	3.8	3.2	25.0	1.9	0.9	2.6	6.2	6.9	22.2

問30 あなたは、これまでにボランティア活動に参加したことがありますか。
 また、今後どのような活動ならば参加してみたいですか。ア～カのそれぞれの項目について
 お答えください。(〇は〈現状〉〈将来〉それぞれ1つだけ)

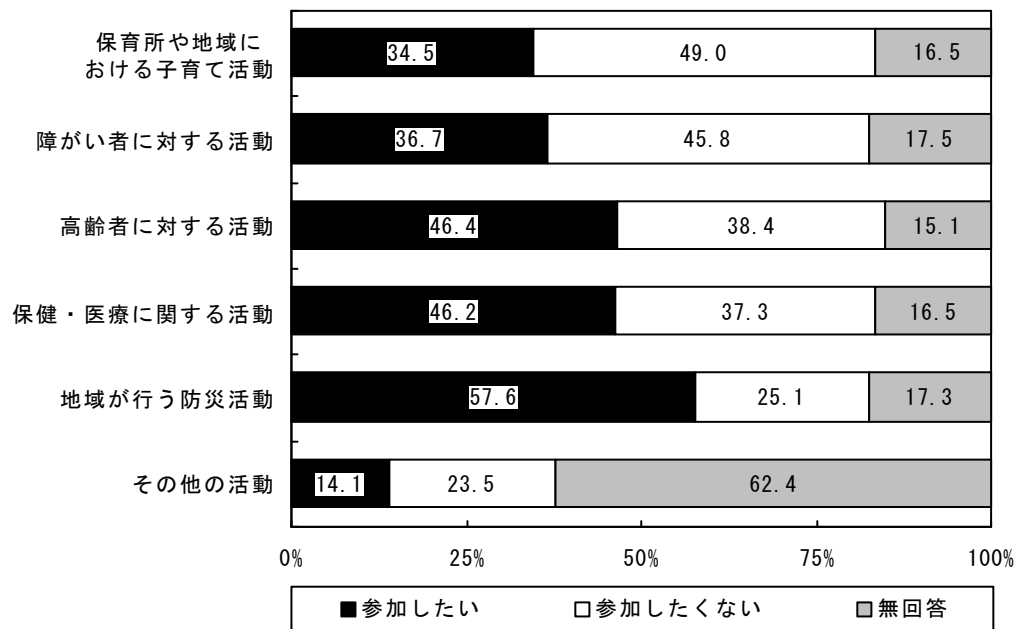
ボランティア活動の参加経験では、「参加したことがある」の割合順にみると「地域が行う防災活動」が34.7%、「保育所や地域における子育て活動」が15.1%、「障がい者に対する活動」が9.2%となっています。「参加したことがない」の割合順にみると「保健・医療に関する活動」が82.5%、「高齢者に対する活動」が82.1%、「障がい者に対する活動」が80.9%となっています。

図3.30.1 ボランティア活動の参加経験



ボランティア活動の参加意向では、「参加したい」の割合順にみると「地域が行う防災活動」が57.6%、「高齢者に対する活動」が46.4%、「保健・医療に関する活動」が46.2%となっています。「参加したくない」の割合順にみると「保育所や地域における子育て活動」が49.0%、「障がい者に対する活動」が45.8%、「高齢者に対する活動」が38.4%となっています。

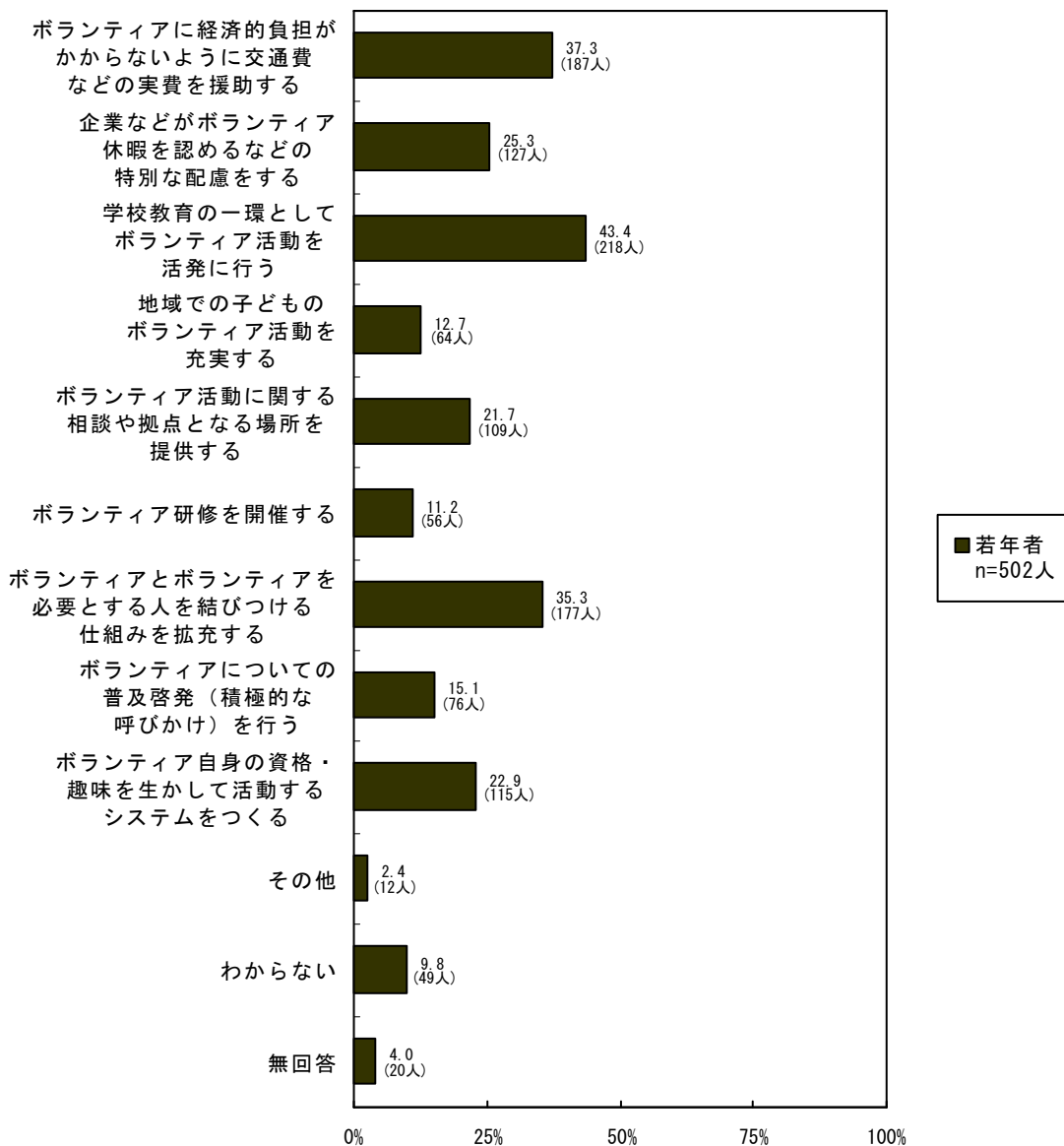
図3.30.2 ボランティア活動の参加意向



問31 今後、ボランティア活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

ボランティア活動の輪を広げていくために必要なことでは、「学校教育の一環としてボランティア活動を活発に行う」が43.4%、「ボランティアに経済的負担がかからないように交通費などの実費を援助する」が37.3%、「ボランティアとボランティアを必要とする人を結びつける仕組みを拡充する」が35.3%、「企業などがボランティア休暇を認めるなどの特別な配慮をする」が25.3%、「ボランティア自身の資格・趣味を生かして活動するシステムをつくる」が22.9%、「ボランティア活動に関する相談や拠点となる場所を提供する」が21.7%となっています。

図3.31 ボランティア活動の輪を広げていくために必要なこと



問32 あなたは、市民にとって使いやすい有効な福祉サービスを実現するために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

使いやすい福祉サービスを実現するために有効なことでは、「福祉サービスに関する情報の提供体制を充実する」が65.7%、「適確な相談が受けられるようにする」が58.4%、「行政やサービス事業者の情報公開を進める」が42.0%、「ボランティアの育成や活動への支援を充実させる」が29.3%、「サービスの内容を評価する仕組みをつくる」が16.3%、「市民が福祉に関わる法律や制度について、学習できる機会や場を提供する」が15.9%、「利用者の人権を保護する仕組みをつくる」が12.2%となっています。

図3.32 使いやすい福祉サービスを実現するために有効なこと

